

日時：2020 年 6 月 20 日（土）9：00～10：00

Web 開催

- I. 開会の辞
- II. 理事長挨拶
- III. 定足数の確認〔定款第 42 条、社員現在数（214 名）の過半数〕
- IV. 議長・議事録署名人の選任（定款第 41.44 条）
- V. 協議事項
 - 第 1 号議案 2019 年度事業報告及び収支決算に関する件〔定款第 38 条（4）〕
 - 第 2 号議案 2020 年度事業計画及び収支予算に関する件〔定款第 38 条（3）〕
 - 第 3 号議案 代議員の選任に関する件〔定款第 22 条〕
 - 第 4 号議案 役員を選任に関する件〔定款第 16 条〕
 - 第 5 号議案 名誉会員の承認に関する件〔定款第 7 条（2）〕
 - 第 6 号議案 第 33 回学術大会大会長に関する件
 - 第 7 号議案 その他
- VI. 報告事項
 1. 理事長報告
 2. 総務報告
 3. 学術報告
 4. 編集報告
 5. 財務報告
 6. 各種委員会報告
 - 1) 教育委員会
 - 2) 社会保険委員会
 - 3) ガイドライン委員会
 - 4) 在宅歯科医療委員会
 - 5) 摂食嚥下リハビリテーション委員会
 - 6) 国際渉外委員会
 - 7) 広報委員会
 - 8) 研修委員会
 - 9) 学術用語委員会
 - 10) 歯科衛生士関連委員会
 - 11) 認定制度委員会
 - 12) 認定資格委員会
 - 13) 研修機関認定委員会
 - 14) 認定試験実施委員会
 - 15) 専門医試験問題委員会
 - 16) 多職種連携委員会
 - 17) 支部組織・地域保健医療福祉委員会
 - 18) 学会間連携委員会
 - 19) 表彰委員会
 - 20) 規程委員会
 - 21) 倫理委員会
 - 22) 倫理審査委員会
 - 23) 利益相反委員会
 - 24) 特任（代議員選出検討）委員会
 - 25) 特任（病院歯科）委員会

7. 日本歯科医学会報告
8. 日本歯科医学会連合報告
9. 日本歯学系学会協議会報告
10. 歯学系学会社会保険委員会連合報告
11. 日本歯科専門医機構報告
12. 日本老年学会報告
13. その他

VII. 次期理事長挨拶

VIII. 次期大会長挨拶

IX. 閉会の辞

表彰式は、第 31 回学術大会 閉会式時に実施いたします。

1. 第 30 回学術大会大会長感謝状授与
2. 優秀奨励論文賞（ライオンアワード）授与
3. 学会功労賞授与
4. 名誉会員証授与

一般社団法人日本老年歯科医学会 2019 年度事業報告書

一般社団法人日本老年歯科医学会は、会員相互および国内外の関連学会との連携協力を行うことにより、会員の老年歯科医学に関わる研究ならびに知識の普及に貢献するとともに、それにより高齢者の保健・医療の進歩・発展を図り、もってわが国の学術の発展と国民の福祉に寄与するため、以下の事業を実施した。

1. 学術大会、その他各種学術集会の開催

(1) 第 30 回学術大会

日 時：2019 年 6 月 6 日（木）～8 日（土）

場 所：仙台国際センター

大会長：米山武義（米山歯科クリニック）

テーマ：食べる力を支える老年歯科医学

参加者数：1,725 名 他招待者

○特別講演 1

「The oral situation of German seniors from an epidemiological perspective」

座長：米山 武義（米山歯科クリニック）

演者：

Thomas Kocher（Department of operative dentistry, periodontology, endodontology, pedodontics and preventive dentistry, Dental School, University medicine Greifswald）

○特別講演 2

「がん治療における口腔管理の重要性」

座長：米山 武義（米山歯科クリニック）

演者：照沼 裕（医療法人財団健貢会東京クリニック/（株）日本バイオセラピー研究所）

○教育講演 1

「超高齢社会におけるインプラントの在り方」

座長：佐藤 裕二（昭和大学歯学部高齢者歯科学講座）

演者：小宮山 彌太郎（ブローネマルク・オッセオインテグレーション・センター）

○教育講演 2

「人間性復活の歯科医療ー口から食べることを通して、とくに認知症への対応ー」

座長：米山 武義（米山歯科クリニック）

足立 融（あい・あだちデンタルクリニック）

演者：加藤 武彦（加藤歯科医院）

○シンポジウム 1

「口腔機能低下症」のこれから

座長：水口 俊介（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野）

演者：小嶺 祐子（厚生労働省医政局歯科保健課）

池邊 一典（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野）

渡邊 裕（北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野高齢者歯科学教室）

竹内 周平（医療法人社団竹印竹内歯科医療院/東京医科歯科大学高齢者歯科学分野）

○シンポジウム 2 (合同セッション)

共同企画：日本老年歯科医学会・日本歯周病学会・日本障害者歯科学会
日本摂食嚥下リハビリテーション学会

「口腔ケアから口腔健康管理へ

座長：櫻井 薫 (東京歯科大学大学院歯学研究科)

眞木 吉信 (東京歯科大学名誉教授)

演者：眞木 吉信 (東京歯科大学名誉教授)

阪口 英夫 (医療法人永寿陵北病院)

吉成 伸夫 (松本歯科大学歯科保存学講座 (歯周))

植田 耕一郎 (日本大学歯学部摂食機能療法学講座)

○シンポジウム 3 (合同セッション)

共同企画：日本老年歯科医学会・日本顎口腔機能学会

「顎口腔機能の測定と評価 ～目的・方法・評価基準～」

座長：服部 佳功 (東北大学大学院歯学研究科口腔機能形態学講座加齢歯科学分野)

演者：志賀 博 (日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第 I 講座)

佐々木 啓一 (東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野)

○シンポジウム 4

「誤嚥性肺炎予防と歯科医療関係者のはたすべき役割」

座長：米山 武義 (米山歯科クリニック)

羽村 章 (日本歯科大学生命歯学部高齢者歯科学)

演者：山谷 睦雄 (東北大学大学院医学系研究科先進感染症予防学寄附講座)

吉田 光由 (広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学)

小玉 剛 (公益財団法人日本歯科医師会常務理事)

文字山 穂瑞 (東京西の森歯科衛生士専門学校/西東京口腔ケアステーション)

○シンポジウム 5

「地域包括ケアへの歯科の貢献 ～地域の実情に応じた対応～」

座長：上田 貴之 (東京歯科大学老年歯科補綴学講座)

山口 哲史 (東北大学大学院歯学研究科加齢歯科学分野)

演者：眞鍋 馨 (厚生労働省老健局老人保健課)

内堀 典保 (一般社団法人愛知県歯科医師会)

山崎 猛男 (一般社団法人宮城県歯科医師会)

○指定シンポジウム 1 (認知症歯科治療ガイドライン関連シンポジウム)

「認知症高齢者に対する歯科治療ガイドラインの活用」

座長：平野 浩彦 (東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科)

演者：市川 哲雄 (徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野)

野原 幹司 (大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能治療学教室)

枝広 あや子 (東京都健康長寿医療センター研究所)

○指定シンポジウム 2 (支部組織・地域保健医療福祉委員会主催シンポジウム)

「歯科医師認知症対応力向上研修をどう活かすか」

座長：糸田 昌隆 (大阪歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科)

平野 浩彦 (東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科)

演者：羽根 司人 (公益財団法人日本歯科医師会地域保健委員会)

赤穂 和広 (一般社団法人青森県歯科医師会)

川端 貴美子 (一般社団法人福岡県歯科医師会)

○歯科衛生士シンポジウム

「食べる力を支えるための口腔健康管理」

座長：菅野 亜紀（東京歯科大学短期大学歯科衛生学科）

伊藤 加代子（新潟大学医歯学総合病院口腔リハビリテーション科）

演者：池邊 一典（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野）

関野 愉（日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座）

中澤 正絵（医療法人社団盟陽会富谷中央病院）

○新人歯科衛生士交流会

「未来を創るしゃべり場」トークルームへようこそ！！～出会う つながる 学ぶ～

○ランチョンセミナー1

「認知症における自律神経障害」

座長：枝広 あや子（東京都健康長寿医療センター研究所）

演者：眞鍋 雄太（神奈川歯科大学 認知症・高齢者総合内科／藤田医科大学 救急・総合内科）

○ランチョンセミナー2

「CPC含有洗口液のデンチャーブラークに対する臨床的生物学的効果」

座長：曾田 英紀（北海道医療大学歯学部 高齢者・有病者歯科学系歯学教育開発学分野）

演者：馬場 一美（昭和大学歯学部 歯科補綴学）

○ランチョンセミナー3

「がん治療と口腔管理」

座長：植野 高章（大阪医科大学 医学部 口腔外科学教室）

講師：百合草 健志志（静岡県立静岡がんセンター 歯科口腔外科）

○ランチョンセミナー4

「超高齢社会における口腔管理とマウスウォッシュ」

座長：中川 種昭（慶應義塾大学医学部（歯科・口腔外科学教室））

講師：堀江 伸行（慶應義塾大学医学部（歯科・口腔外科学教室））

○スポンサードシンポジウム ～ 高齢者の摂食嚥下障害・脱水・低栄養を考える ～

座長：新田 國夫（日本在宅ケアアライアンス）

演者：丸山 道生（緑秀会田無病院）

松尾 浩一郎（藤田医科大学医学部歯科・口腔外科学講座）

飯田 良平（鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座）

(2) 高齢者医療臨床研修会（学会主催セミナー）

通算 第7回

日 時：2019年 12月 15日

場 所：ベルサール神保町アネックス

テーマ：多職種連携のための入門研修

通算 第8回：中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

(3) 研修会・セミナーの開催（別紙）

学会 共催・後援研修会・セミナー：11回開催

学会 後援：日本歯科衛生士会認定セミナー「在宅療養指導・口腔機能管理」10回開催

支部 主催・共催・後援研修会・セミナー：15回開催（

歯科衛生士関係 研修会・セミナー：1回開催

2.学会機関誌及びその他の出版物の刊行

- ・日本老年歯科医学会機関誌 [老年歯科医学] 第34巻1~4号の発行
総説、原著、臨床報告、調査報告、教育ノート、ケアノート、紹介 等
- ・日本老年歯科医学会公式英文誌「Gerodontology」

Volume 36, Issue 2 ~ Volume 37, Issue 1 の発行

3.高齢者の歯科医療及び健康に関する認定医の養成並びに認定

(1) 認定医、専門医、指導医、研修機関、摂食機能療法専門歯科医師の認定、公益社団法人日本歯科衛生士会への認定歯科衛生士の推薦

① 認定医	41名
② 専門医	23名
③ 指導医	7名
④ 研修機関	2施設
⑤ 摂食機能療法専門歯科医師	10名
⑥ 認定歯科衛生士	5名

4.老年歯科医学研究助成事業

2018-2019年度

- 「回復期リハビリテーション病棟における口腔機能低下症への介入効果」
- 「パーキンソン病患者の嚥下機能と服薬状況に関する調査研究」

2019-2020年度

- 「口渇症状の出現に関与する因子の解明—ドライマウス外来での大規模調査から—」
- 「口腔サルコペニアの診断方法の確立」

5.研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 学会功労賞

- 小正 裕 (大阪歯科大学 名誉教授)
- 野村修一 (新潟大学 名誉教授)

(2) 老年歯科医学賞

該当なし

(3) 優秀奨励論文賞 (ライオンアワード)

「Hyposalivation and 10 - year all - cause mortality in an elderly Japanese population」

Masanori Iwasaki, Wenche S.Borgnakke, Akihiro Yoshihara, Kayoko Ito, Hiroshi Ogawa, Kaname Nohno, Misuzu Sato, Kumiko Minagawa, Toshihiro Ansai, Hideo Miyazaki

Gerodontology Version of Record online: 10 January 2018 | DOI: 10.1111 / ger.12319

「Association of handgrip strength with various oral functions in 82 - to 84 - year - old community - dwelling Japanese」

Yusuke Mihara, Ken - ichi Matsuda, Kazunori Ikebe, Koudai Hatta, Motoyoshi Fukutake, Kaori Enoki, Taiji Ogawa, Hajime Takeshita, Chisato Inomata, Yasuyuki Gondo, Yukie Masui, Kei Kamide, Ken Sugimoto, Mai Kabayama, Tatsuro Ishizaki, Yasumichi Arai, Yoshinobu Maeda

Gerodontology Version of Record online: 10 January 2018 | DOI: 10.1111 / ger.12319

(4) 優秀課題口演賞

五十嵐公美 (日本歯科大学大学院生命歯学研究科臨床口腔機能学)

「人生の最終段階に向かう高齢者に対する口腔内に存在するリスク評価の試み」

福武元良 (大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)

「高齢者における最大咬合力と BMI との関連—SONIC 研究 6 年間の縦断結果より—」

(5) 優秀ポスター賞

丸岡三紗 (まんのう町国民健康保険造田歯科診療所)

「住民主体による高齢者向け配食活動の展開プロセスにおいて医療介護専門職が果たした役割」

木村年秀 (まんのう町国民健康保険造田歯科診療所)

「地域高齢者の「食べる楽しみ」喪失リスクをチェック！—地域資源に繋げてフレイルを防ぐ—」

星野大地 (昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座地域連携歯科学部門)

「終末期ケアのための簡易摂食嚥下機能評価の検討」

6. 国内外における関連団体との交流

- ・海外の老年関連学会との交流促進、会員への広報ならびに国内の老年関連学会との交流促進、会員への広報を実施した。

7. 高齢者の保健・医療の向上の推進

- ・令和元年度厚生労働省老人保健事業「介護保険施設等における口腔の健康管理等に関する調査研究事業」の実施。
- ・令和元年度厚生労働省委託事業「検査方法等の実証に係る研究等一式 (口腔内の虚弱等の状態を評価する客観的スクリーニング方法等の開発・検証)」の実施
- ・「認知症の人への歯科治療ガイドライン」の編集
- ・「脳卒中患者への医科歯科連携に関するガイドブック」の作成
- ・日本歯科医学会 平成 30・令和元年度プロジェクト研究「開口運動を用いた簡易な嚥下評価機能について」の実施
- ・日本歯科医学会 令和元・2 年度プロジェクト研究「フレイルおよび認知症と口腔健康の関係に焦点化した人生 100 年時代を見据えた歯科治療指針作成に関する研究」の実施
- ・日本歯科医学会連合 医療問題関連事業 調査研究 下記 3 件の報告
 - 「咀嚼機能評価に関する調査研究」
 - 「咀嚼機能の新たな評価方法：健常高齢者における咬筋の収縮時変位量と収縮速度についての研究」
 - 「成人期および高齢期における口唇閉鎖力の標準値に関する調査研究」
- ・日本歯科衛生士会 認定歯科衛生士事業への協力

8. その他、本法人の目的達成のために必要と認められる事業

- ・広報活動
 - ①ニュースレター (年 4 回) の発行
 - ②学会ホームページの運用

9. 役員会および各種委員会の開催

(1) 総会

定時社員総会：2019年6月7日

(2) 常任理事会

第1回：2019年4月23日

第2回：2019年6月5日

第3回：2019年9月12日

第4回：2019年12月13日

第5回：2020年1月25日

第6回：2020年3月24日 Web会議併催

(3) 理事会

第1回：2019年4月23日（メール会議）

第2回：2019年5月22日（メール会議）

第3回：2019年6月5日

第4回：2019年6月25日（メール会議）

第5回：2019年11月5日（メール会議）

第6回：2019年12月13日

第7回：2020年3月30日（メール会議）

(4) 支部長会

日時：2020年6月8日（土）

場所：仙台国際センター

(5) 各種委員会

学術委員会、編集委員会、財務委員会、教育委員会、社会保険委員会、ガイドライン委員会、在宅歯科診療委員会、摂食嚥下リハビリテーション委員会、国際渉外委員会、広報委員会・研修委員会、学術用語委員会、歯科衛生士関連委員会、認定制度委員会、認定資格委員会、研修機関認定委員会、認定試験実施委員会、専門医試験問題委員会、多職種連携委員会、学会間連携委員会、表彰委員会、規程委員会、倫理委員会、倫理審査委員会、支部組織・地域保健医療福祉委員会、利益相反委員会 開催。

その他、委員会活動に付随する特任委員会、ワーキンググループ、打合せを実施

*2020年3月実施の委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、原則 Web 会議とした。

10. 日本老年学会会議への参加

理事会：2020年1月25日開催

将来計画委員会：2020年1月25日開催

プログラム委員会：2020年1月24日開催

学会あり方委員会：2019年9月2日開催（第1回）

2020年3月6日開催（第2回）

国際学会招致委員会：2019年6月5日開催（第7回）

2019年12月3日開催（第8回）

以 上

2019年度 日本老年歯科医学会 支部主催・共催・後援セミナー

	支部	開催形態	名称	テーマ等	主催団体	共催・後援等	会期	会場	参加者数	研修単位	E4/E5認定 更新研修科
1	神奈川 山梨	合同	神奈川支部・山梨支部 合同セミナー	歯科発！生活習慣病・フレイル予防、改善のアプローチを考える	神奈川支部・山梨支部、 日本口腔検査学会(共同開催)	後援:神奈川県歯科医師会、 山梨県歯科医師会	2019年4月21日(日) 10:00～16:00	神奈川歯科大学附属病院 12F大講堂	100名 (日本老年歯科医学会12名、 日本口腔検査学会11名、 非会員23名、学内関係5名、 展示企業関係者17名、 その他)	6	○
2	北海道	主催	北海道支部主催セミナー「第18回北海道口腔ケアセミナー」	『在宅医療における「食」のあり方』 『口腔ケアから生活支援へ～当院の取り組みへ～』、 『口腔ケアにおける多職種連携の実践～連携は他職種との理解から～』 『いつまでもおいしく食べる』を目指して ～食支援への管理栄養士の介入と連携～	北海道支部 北海道口腔ケア研究会		2019年5月25日(土) 12:30～17:00	北海道自治労会館 5F大ホール	205名	6	○
3	奈良	共同	奈良支部共同開催セミナー「第6回在宅療養支援歯科診療所の施設基準講習会」	ミールラウンドで使える！認知症高齢者の食支援	奈良県歯科医師会 奈良県歯科衛生士会		2019年6月2日(日) 10:00～12:00	奈良県歯科医師会館	歯科医師数59名 歯科衛生士数54名	2	○
4	岩手	共催	岩手支部共催セミナー「第10回岩手県歯科医学会大会」	ライフステージに応じた口腔機能管理の推進	岩手県歯科医師会	共催:岩手支部	2019年6月15日(土) 13:30～17:00 16日(日) 10:00～15:00	岩手県歯科医師会館 5F 8020大ホール	150名	2	○
5	愛知	共催	愛知支部共催セミナー「東海オーラルマネジメント研究会」	緩和ケアにおけるオーラルマネジメント	東海オーラルマネジメント研究会	共催:愛知支部	2019年7月21日(日) 13:30～16:40	ウイングあいち 小ホール	108名	4	○
6	長崎 宮崎 大分 福岡 熊本 鹿児島 佐賀	共催	九州地域支部セミナー「第3回九州老年歯科フォーラム」	加速する高齢社会に向けた私共の対応～地域の備え！安心安全な食支援と在宅医療の展開～	全国在宅療養支援歯科診療 所連絡	共催:長崎県歯科医師会、日本老年歯科 医学会 長崎支部、宮崎支部、大分支部、 福岡支部、熊本支部、鹿児島支部、佐賀支 部、長崎口のリハビリテーション研究会	2019年8月4日(日) 9:00～16:30	長崎県歯科医師会館	107名	6	○
7	茨城 栃木	後援	茨城・栃木支部後援セミナー「第11回北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会」	「最後までロカ食べる」を実践するため	北関東摂食嚥下研究会	共催:摂食ケア、カレイド 後援:栃木支部、茨城支部	2019年8月25日(日) 13:00～16:00	茨城県立医療大学講義棟大講義室	—	—	—
8	岐阜	共催	岐阜支部共催セミナー「第24回東海歯科医療管理学会総会・学術大会」	「歯科医院での摂食嚥下障害への対応」 「口腔機能低下症の検査・診断・治療」	第24回東海歯科医療管理学 会総会・学術大会	共催:岐阜支部	2019年9月8日(日) 13:00～17:00	岐阜県歯科医師会会館	61名	4	○
9	愛媛	共催	愛媛支部共催セミナー「第23回『ロカから食べたい』セミナー」	ロカから食べたい思いを最後まで支える心のコミュニケーション	伊予歯科医師会	共催:日本老年歯科医学会 愛媛支部 他 後援:愛媛県 他	2019年10月6日(日) 9:20～16:00	松前総合文化センター	350名	4	○
10	岡山	共催	岡山支部共催セミナー「岡山大学摂食嚥下障害研究会 食支援ネットワーク100回記念講演会」	「食べ方」に困ったらどうしよう？	岡山大学病院、岡山県	共催:日本老年歯科医学会 岡山支部	2019年11月3日(日) 10:00～13:00	ビュアリティまきび	97名	4	○
11	東京	後援	東京支部後援セミナー「日本補綴歯科学会東京支部生涯学習公開セミナー」	超高齢社会における補綴歯科治療の役割	日本補綴歯科学会 東京支部	後援:日本老年歯科医学会 東京支部	2019年12月8日(日) 15:00～17:00	昭和大学上条記念館	—	—	—
12	静岡	主催	静岡支部主催「オーラルフレイルを理解する」研修会	地域包括ケアシステムの中でオーラルフレイルをどう活かすか	静岡支部 口腔ケアネットワーク(三島)	後援:三島市歯科医師会	2019年12月14日(土) 16:00～18:00	三島市民活動センター	75名	4	○
13	千葉	主催	千葉支部主催セミナー「第4回公開研修セミナー」	在宅高齢者への栄養支援と歯科	千葉支部	後援:千葉県歯科医師会、 千葉県歯科衛生士会	2020年2月9日(日) 13:00～16:30	千葉県歯科医師会館 2Fホール	122名	6	○
14	群馬	主催	令和元年度 群馬支部主催 講演会・シンポジウム	摂食嚥下の基礎と臨床	群馬県歯科医師会 群馬支部	後援:群馬県、群馬県言語聴覚士会	2020年2月9日(日) 13:30～17:30	群馬県歯科医師会館 4F 第2会議室	歯科医師31名 歯科衛生士48名 言語聴覚士15名 看護師2名 栄養士2名 理学療法士2名 作業療法士1名	6	○
15	広島	主催	令和元年度 広島支部セミナー	高齢者の摂食嚥下機能や栄養状態に関する講演	広島支部		2020年2月14日(金) 19:00～20:30	県立広島大学サテライトキャンパス広島	110名	4	○

2019年度 日本老年歯科医学会 学会主催セミナー

	名称	会期	会場	参加者数	共催・後援 等	研修 単位	DH認定 更新研修
1	第7回高齢者医療 臨床研修会 「多職種連携のための入門研修」	2019年12月15日(日) 13:00～17:00	バルサール神保町アネックス	130名	共催:東京支部、神奈川支 部、埼玉支部、千葉支部 後援:公益社団法人 東京都 歯科医師会、一般社団法人 神奈川県歯科医師会、一般 社団法人 埼玉県歯科医師 会、一般社団法人 千葉県歯 科医師会	8	○

2019年度 歯科衛生士関係セミナー

	名称	会期	会場	参加者数		研修 単位	DH認定 更新研修
1	第6回歯科衛生士関連委員会主催セミナー	2019年7月15日(月・祝) 13:00～16:00	フクラシア品川 クリスタルスクエア	49名		—	○

2019年度 学会共催・後援セミナー

		名称	会期	主催団体		会場	研修 単位	DH認定 更新研修
1	後援	第181回国治研セミナー 「嚙下障害セミナー基礎・入門編」	2019年4月20日(土)～21日(日)	一般社団法人 国際教育	—	関内新井ホール	—	—
2	後援	公益社団法人 日本補綴歯科学会 第128回学術大会	2019年5月10日(金)～12日(日)	公益社団法人 日本補綴歯科学会	—	札幌コンベンションセンター	—	—
3	後援	第56回日本リハビリテーション医学会学術集会	2019年6月12日(水)～16日(日)	日本リハビリテーション医学会	—	神戸コンベンションセンター	—	—
4	後援	第22回嚙下機能評価研修会	2019年6月30日(日) 9:00～17:30	東京慈恵医科大学	—	NPO法人 PDN、 在宅医療研究会	—	—
5	後援	世界口腔保健学術大会記念「第25回口腔保健シ ンポジウム」	2019年7月6日(土) 14:00～16:30	公益社団法人 日本歯科医師会 共催:NHKエンタープライズ	—	よみうり大手町ホール	—	—
6	後援	第3回最期まで口から食べられる街づくりフォー ラム全国大会	2019年9月1日(日)	新宿食支援研究会	—	東京富士大学 二上講堂	—	—
7	後援	NPO法人 PDN主催セミナー「第2回口腔機能低 下・嚙下障害と栄養管理に関するセミナー」	2019年10月20日(日) 9:00～17:00	NPO法人 PDN (Patient Doctors Network)	—	東京慈恵医科大学 3F講堂	—	—
8	後援	第25回咀嚼と健康ファミリーフォーラム	2019年11月13日(水)	特定非営利活動法人 日本咀嚼学会	—	有楽町朝日ホール	—	—
9	後援	第27回日本慢性期医療学会	2019年12月3日(火)～4日(水)	日本慢性期医療協会	—	大阪国際会議場	—	—
10	後援	第23回嚙下機能評価研修会	2020年1月19日(日) 9:00～17:30	NPO法人 PDN、 在宅医療研究会	—	東京慈恵医科大学	—	—
11	後援	第1回フレイルに立ち向かう会 (フレイルの日制定記念イベント)	2020年2月9日(日) 13:00～17:00	スマートウェルネスコミュニティ 協議会	—	順天堂大学保健看護学部	—	—

一般社団法人日本老年歯科医学会 2019年度 収支報告

2019年4月1日～2020年3月31日
(単位:円)

科 目	2019年度予算額	2019年度決算額	執行率	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1 入会金収入	800,000	940,000	117.50%	正会員2,000円×470名
2 会費収入	40,440,000	36,545,900	90.37%	
(1) 正会員会費収入	40,000,000	36,205,900	90.51%	
①当該年度会費	36,000,000	32,035,750	88.99%	
②過年度会費	4,000,000	4,170,150	104.25%	2018年 3,146,000円、2017年 730,150円、2016年 190,000円、2015年度30,000円、2014年度 74,000円
(2) 賛助会費収入	440,000	340,000	77.27%	16社
3 事業収入	34,790,000	37,255,688	107.09%	
(1) 学術大会運営事業収入	27,500,000	29,545,400	107.44%	第30回学術大会(参加費、企業協賛等)
(2) 研修会運営事業収入	1,200,000	810,000	67.50%	歯科衛生士セミナー(7/15開催 51名):350,000円 第7回研修会:参加費438,000円、展示 22,000円
(3) 学会誌論文掲載収入	1,000,000	1,410,688	141.07%	33巻3号 159,448円、33巻4号 379,188円、34巻1号 250,992円、34巻2号 261,800円、34巻3号 359,260円
(4) 学会誌広告掲載収入	1,200,000	1,219,600	101.63%	33巻4号 334,800円、34巻1号 334,800円、34巻2号 308,000円、34巻3号 242,000円
(5) 認定事業関係収入	3,890,000	4,270,000	109.77%	
①認定医・専門医制度	3,410,000	3,830,000	112.32%	認定医 申請料 480,000円、登録料 1,230,000円、更新料 720,000円 専門医(指導医・研修機関含む) 申請料 410,000円、登録料 650,000円、更新料340,000円
②摂食機能療法 専門歯科医師制度	430,000	370,000	86.05%	申請料 300,000円、登録料 70,000円
③認定歯科衛生士	50,000	70,000	140.00%	申請料 70,000円
4 補助金等収入	38,954,165	36,154,165	92.81%	
(1) 日本歯科医学会助成金	792,000	792,000	100.00%	助成金 792,000円
(2) 研究費助成金	37,302,165	34,502,165	92.49%	プロジェクト研究費:2018-2019事業(1,500,000円)、2019-2020事業(2,000,000円) 厚生省委託事業2018年度事業(精算額) 15,702,165円、日本歯科医学会連合助成(300,000円) 老健事業 15,000,000円
(3) ライオンアワード助成金	860,000	860,000	100.00%	2019年度表彰分(受賞2件)
5 寄附金収入	330,575	330,575	—	GC(ECG-JSCセッション)
6 雑収入	200,000	926,551	463.28%	著作権(用語集・ガイドライン/医歯薬)643,195円、学術著作権協会 139,697円、医学中央雑誌 7,480円 団体保険関係 96,618円、認定証再発行 2,000円、冊子販売 3,000円、SWC後援 34,525円、利息36円
事業活動収入計	115,514,740	112,152,879	97.09%	
2. 事業活動支出				
1 事業費				
(1) 学術大会事業費	28,100,000	29,065,503	103.44%	
①第29回学術大会事業	27,800,000	29,009,503	104.35%	第30回学術大会(会場費、機材、講師謝礼、プログラム集、参加登録、演題登録等)
②第30回大会以降準備費	300,000	56,000	18.67%	第31回大会打ち合わせ 2,000円、第32回大会打ち合わせ 52,000円
(2) 研修会運営事業	4,950,000	2,799,339	56.55%	DHセミナー 805,795円、倫理研修 306,560円、第7回研修会 1,547,223円、第8回研修会 139,761円(事前準備費)
(3) 機関誌刊行事業	12,000,000	14,978,996	124.82%	33巻4号 3,401,042円、34巻1号 3,596,791円、34巻2号 4,267,027円、34巻3号 3,702,136円
(4) 広報事業費	2,480,000	2,556,246	103.07%	
①ホームページ運用事業	640,000	587,420	91.78%	ホームページ管理費 10,800円×7ヵ月+11,000円×5ヵ月+更新費+データ管理費
②News Letter 発行事業	1,240,000	1,258,186	101.47%	No.35 311,661円、No.36 311,661円、No.37 317,432円、No.38 317,432円
③広報媒体発行事業費	600,000	710,640	118.44%	患者向け口腔機能低下パンフ(初版)460,080円、口腔機能低下症(刷増)86,400円、布ポスター 164,160円
(5) 認定制度運営事業費	5,080,000	4,685,095	92.23%	
①認定医・専門医制度	3,120,000	2,481,112	79.52%	認定審査委員会費 578,332円、認定証作成 392,770円、雑費 26,010円 認定医業務事務委託費 54,000円×6ヶ月分+55,000円×6ヵ月、手数料(44件)96,800円 専門医業務事務委託費 54,000円×6ヶ月分+55,000円×6ヵ月、手数料(36件)79,200円
②摂食機能療法 専門歯科医師制度	560,000	530,063	94.65%	摂食機能療法歯科医師業務事務委託費 10,800円×6ヶ月分+11,000円×6ヵ月、指定研修 91,323円 認定証 32,940円、手数料(25件) 275,000円
③認定歯科衛生士	400,000	368,166	92.04%	認定審査委員会費 343,137円、手数料(7件)23,100円、雑費1,929円
④研修単位管理	1,000,000	1,305,754	130.58%	単位管理システム運用費 330,000円/年、システム更新 33,000円、IDカード作成費 449,927円 単位収集経費 454,727円、データ出力 38,100円
(6) 各種委員会活動事業費	4,430,575	4,081,018	92.11%	学術 251,088円、財務 123,404円、編集 797,544円、教育 420,238円、社会保険 108,944円、ガイドライン 449,280円 国際渉外 275,932円(ECG-JSCセッション含む)、学術用語 55,239円、広報 542,980円、研修 55,263円 DH 336,120円、多職種 351,734円、倫理審査 99,199円、特任 69,795円、選管 38,961円、 演題登録打ち合わせ 86,000円、その他 25,297円
(7) 研究調査事業費	38,361,737	33,438,070	87.17%	老健事業 15,000,000円、厚生労働省委託事業 14,138,070円 日本歯科医学会プロジェクト研究助成金 2018-2019年年度分 1,500,000円、2019-2020年度分 2,000,000円 2019年度老年歯科医学研究助成 250,000円×2件、日本歯科医学会連合助成 300,000円
(8) 研究業績表彰事業費	1,200,000	1,133,478	94.46%	ライオンアワード(2名)、優秀口演賞(2名)、優秀ポスター賞(4名)
(9) 関連団体交流事業費	2,650,000	2,663,625	100.51%	日本歯科医学会(分担金120,000円、交通費 2,000円、研修会 1,500円) 厚生省(交通費 36,000円)、日本歯科医学会連合(分担金 1,119,600円) 日本歯学系学会協議会(分担金 50,000円、交通費 4,000円)、 歯保連(分担金 40,000円、会議交通費 69,000円)、日本歯科専門医機構(2020年度 300,000円、交通費 4,000円) 日本老年学会(会費 790,000円、交通費 46,000円)、厚生省(交通費 36,000円) フレイルの日講師派遣(34,515円)、その他関係団体(交通費 27,000円)
(10) 国際渉外事業費	600,000	179,854	29.98%	
(11) その他事業費	84,000	0	0.00%	
(12) 支部活動費	1,350,000	957,870	70.95%	北海道234,513円、茨城 540円、千葉 217,835円、神奈川 140,592円、群馬 163,515円、静岡 49,071円 愛知 4,860円、岐阜 3,132円、奈良 10,993円、兵庫 540円、岡山 8,800円、愛媛 4,806円 広島 96,177円、諸費 22,496円
事業費支出計	101,286,312	96,539,094	95.31%	
2 管理費				
(1) 会議費	1,400,000	1,753,431	125.25%	学術大会・総会 227,694円(事務局出張費含む)、理事会(2回)936,584円、常任理事会(6回) 433,851円 監査会 121,573円、会議打ち合わせ 17,421円、その他打ち合わせ 108円、諸費 16,200円
(2) 通信費	1,580,000	1,770,934	112.08%	
①送料・通信費	1,500,000	1,692,574	112.84%	TEL・FAX代、宅配送料、切手・ハガキ代等(役員選挙関係発送含む)
②メール・リスト管理費	80,000	78,360	97.95%	ML管理費 3,240円×7ヵ月+3,300円×5ヵ月分、MM管理費 3,240円×7ヵ月分+3,300円×5ヵ月
(3) 事務印刷費	2,050,000	1,948,116	95.03%	コピー代、会議資料印刷費、委嘱状作成費
(4) 消耗品費	230,000	274,488	119.34%	封筒作成、文具、消耗品
(5) 業務委託費	6,600,000	6,330,720	95.92%	学会業務事務委託費 522,720円×6ヶ月分+532,400円×6ヵ月
(6) 租税公課	772,300	774,300	100.26%	法人住民税 129,300円、法人税 131,400円、消費税 505,900円、地方税 5,700円、収入印紙2,000円
(7) 法人運営費	760,000	643,231	84.64%	税理士報酬(491,371円、前年度源泉分 30,630円+決算報酬117,348円)、残高証明 642円 DUNS発行費 3,240円
(8) 雑費	28,128	660	2.35%	
管理費支出計	13,420,428	13,495,880	100.56%	
事業活動支出計	114,706,740	110,034,974	95.93%	
事業活動収支差額	808,000	2,117,905	—	
II 基金積立支出	800,000	800,000	—	周年事業積立金
III 予備費支出	8,000	0	0.00%	
当月収支差額	—	1,317,905	—	
前年度前受金	1,267,800	1,267,800	—	
前期繰越収支差額	2,227,252	2,227,252	—	
次年度繰越収支差額	2,227,252	4,812,957	—	

<次月繰越収支差額内訳> ①現金:8,825円+②普通預金:3,923,224円+③郵便振替:2,070,508円+④来期前受金 1,189,600円=4,812,957円
A:国際交流積立金:2,000,000円 B:専門医制度整備積立金:2,000,000円 C:支部整備積立金:1,000,000円 D:用語辞典積立金:4,000,000円 E:周年事業積立金:12,208,098円
F:研究事業積立金 500,000円 G:渡邊郁馬記念基金:5,567,844円 H:日本老年歯科医学会 基金(No.1296105) 20,000,000円

一般社団法人日本老年歯科医学会 2019年度 積立金収支報告

2019年4月1日～2020年3月31日

A: 国際交流積立金

No.0149794

(単位:円)

科目	2019年度予算額	累計	備考
事業活動収入			
本会計より積立	0	0	
事業活動収入計	0	0	
事業活動支出			
周年事業積立金へ	3,000,000	3,000,000	
事業活動支出計	3,000,000	3,000,000	
当期収支差額	△ 3,000,000	△ 3,000,000	
前年度繰越積立額	5,000,000	5,000,000	
次年度繰越積立額	2,000,000	2,000,000	

B: 専門医制度整備積立金

No.0149809

(単位:円)

科目	2019年度予算額	累計	備考
事業活動収入			
本会計より積立	0	0	
事業活動収入計	0	0	
事業活動支出			
周年事業積立金へ	3,000,000	3,000,000	
事業活動支出計	3,000,000	3,000,000	
当期収支差額	△ 3,000,000	△ 3,000,000	
前年度繰越積立額	5,000,000	5,000,000	
次年度繰越積立額	2,000,000	2,000,000	

C: 支部整備積立金

No.0149825

(単位:円)

科目	2019年度予算額	累計	備考
事業活動収入			
本会計より積立	0	0	
事業活動収入計	0	0	
事業活動支出			
周年事業積立金へ	3,000,000	3,000,000	
事業活動支出計	3,000,000	3,000,000	
当期収支差額	△ 3,000,000	△ 3,000,000	
前年度繰越積立額	4,000,000	4,000,000	
次年度繰越積立額	1,000,000	1,000,000	

D: 用語辞典積立金

No.0192682

(単位:円)

科目	2019年度予算額	累計	備考
事業活動収入			
一般会計より繰入	0	0	
事業活動収入計	0	0	
事業活動支出			
事業活動支出計	0	0	
当期収支差額	0	0	
前年度繰越積立額	4,000,000	4,000,000	
次年度繰越積立額	4,000,000	4,000,000	

E: 周年事業積立金

No.0320015

(単位:円)

科目	2019年度予算額	累計	備考
事業活動収入			
本会計より積立	800,000	800,000	
国際交流特別基金	3,000,000	3,000,000	
専門医制度整備特別基金	3,000,000	3,000,000	
支部整備特別基金	3,000,000	3,000,000	
事業活動収入計	9,800,000	9,800,000	
事業活動支出			
準備経費	1,000,000	91,904	
事業活動支出計	1,000,000	91,904	
当期収支差額	8,800,000	9,708,096	
前年度繰越積立額	2,500,002	2,500,002	
次年度繰越積立額	11,300,002	12,208,098	

F: 研究事業積立金

No.0430612

(単位:円)

科目	2019年度予算額	累計	備考
事業活動収入			
本会計より積立	0	0	
事業活動収入計	0	0	
事業活動支出			
	0	0	
事業活動支出計	0	0	
当期収支差額	0	0	
前年度繰越積立額	500,000	500,000	
次年度繰越積立額	500,000	500,000	

G: 渡邊郁馬記念基金(積立金)

No.0259757

(単位:円)

科目	2019年度予算額	累計	備考
事業活動収入			
一般会計より繰入	0	0	
寄付			
事業活動収入計	0	0	
事業活動支出			
研究業績表彰事業費	0	0	
事業活動支出計	0	0	
当期収支差額	0	0	
前年度繰越積立額	5,567,844	5,567,844	
次年度繰越積立額	5,567,844	5,567,844	

2019年度監査報告書

一般社団法人日本老年歯科医学会

理事長 佐藤 裕二 殿

2020年5月21日

一般社団法人 日本老年歯科医学会

監事 山根源之 

監事 森 光彦 

私達 監事は、定款第18条第5項により、2019年4月1日から2020年3月31日までの2019年度における業務及び財産に関する監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 業務監査について、理事会及び定時社員総会に出席し、理事からの業務報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 財産監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 2019年度学会運営及び委員会活動の内容は真実であると認める。
- (2) 決算報告書は会計帳簿の記載金額と一致し、学会の収支状況及び資産状況を正しく表示していると認める。

2020 年度事業計画及び収支予算に関する件

一般社団法人日本老年歯科医学会 2020 年度事業計画（案）

2020 年度の本学会は、定款第 3 条に則り、下記の事業を行うものとする。

記

1. 学術大会、その他各種学術集会の開催
 - 1) 第 31 回学術大会（学会設立 30 周年記念大会）：東京医科歯科大学
 - 2) 支部セミナー
 - 3) 学会主催セミナー
 - 4) 学会・セミナーの共催・後援：関係団体からの依頼に対応する
2. 学会機関誌及びその他の出版物の刊行
 - 1) 「老年歯科医学」第 35 巻 1 号～4 号
 - 2) ニュースレターの発行（年 4 回）
 - 3) Gerodontology の後援
 - 4) その他
3. 高齢者の歯科医療及び健康に関する認定医等の養成並びに認定
 - 1) 養成
 - 2) 認定：認定医、専門医、指導医、研修機関の認定（認定医制度/専門医制度）
 - ：摂食機能療法専門歯科医師の認定
 - ：公益社団法人日本歯科衛生士会への認定歯科衛生士の推薦
 - 3) 広報：認定資格の学会内外への啓発
4. 研究の奨励及び研究業績の表彰
 - 1) 多施設共同研究支援クラウドの運用
 - 2) 学会功労賞、老年歯科医学賞、優秀奨励論文賞、優秀課題口演賞、優秀ポスター賞の表彰
5. 国内外における関連団体との交流
 - 1) 国内における関連団体との交流
 - 2) 諸外国との団体交流の促進
 - 3) 国際的な学術企画の検討
6. 高齢者の保健・医療の向上の推進
 - 1) 在宅歯科医療の向上等と普及
 - 2) 社会保険へ導入された新医療技術の普及
 - 3) 口腔機能低下症の啓発
 - 4) 歯科医師と管理栄養士の連携に関わる事業の推進
 - 5) 2020 年度厚生労働省委託事業
 - 6) 2020 年度老人保健健康増進等事業

7) 日本歯科医学会プロジェクト研究事業

「フレイルおよび認知症と口腔健康の関係に焦点化した人生 100 年時代を見据えた歯科治療指針作成に関する研究」

8) 日本歯科医学会連合 医療問題関連事業 調査研究への協力

9) 各種リーフレットの頒布・新規リーフレットの作成

7. その他、本法人の目的達成のために必要と認められる事業

1) ホームページおよびメールマガジンの運用

2) 老年歯科医学の学術用語の整理と普及

3) 老年歯科医学の確立と普及

4) 30 周年記念事業の企画

5) 医療倫理および医療安全に関する啓発

6) その他

2020 年 6 月 20 日

一般社団法人日本老年歯科医学会2020年度予算(案)

2020年4月1日～2021年3月31日
(単位:円)

科目	2020年度予算額	2019年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1 入会金収入	800,000	800,000	0	正会員2,000円×400名
2 会費収入	42,280,000	40,440,000	1,820,000	
(1) 正会員会費収入	41,800,000	40,000,000	1,800,000	
① 当該年度会費	37,800,000	36,000,000	1,800,000	10,000円×4,200名×90%
② 過年度会費	4,000,000	4,000,000	0	前年度未納者分10,000円×400名
(2) 賛助会費収入	480,000	440,000	20,000	20,000円×23社
3 事業収入	31,485,000	34,790,000	△ 3,325,000	
(1) 学術大会運営事業収入	24,000,000	27,500,000	△ 3,500,000	前納参加費、当日参加費、懇親会費、企業展示、広告料等、ランチョン協賛金他
(2) 研修会運営事業収入	1,405,000	1,200,000	205,000	高齢者医療臨床研修会 1,240,000円 (事前: 会員4,000円×110名+非会員6,000円×20名)×2回 (当日: 会員5,000円×5名+非会員7,000円×5名)×2回 歯科衛生士セミナー 165,000円 (会員5,000円×25名、非会員8,000円×5名)
(3) 学会誌論文掲載収入	1,120,000	1,000,000	120,000	前年度実績より(8,000円/頁・投稿頁140頁)
(4) 学会誌広告掲載収入	1,200,000	1,200,000	0	前年度実績より(平均9社・300,000円/号)
(5) 認定事業関係収入	3,740,000	3,890,000	△ 150,000	
① 認定医・専門医制度	3,290,000	3,410,000	△ 120,000	認定医 2,950,000円 申請料10,000円(40名)、認定医登録料30,000円(49名) 更新料30,000円(35名)+10,000円(3機関) 専門医(指導医・研修機関含む)340,000円 申請料10,000円(10名)、登録料10,000円(10名) 更新料30,000円(5名)+10,000円(8施設)
② 摂食機能療法 専門歯科医師制度	400,000	430,000	△ 30,000	登録料 10,000円(10名)、申請料 30,000円(10名)
③ 認定歯科衛生士	50,000	50,000	0	申請料 10,000円(5名)
4 補助金等収入	31,890,070	38,954,165	△ 7,064,095	
(1) 日本歯科医学会助成金	792,000	792,000	0	前年度実績
(2) 研究費助成金	30,238,070	37,302,165	△ 7,064,095	2020年度老人保健増進等事業(14,000,000円) 2019年度厚労省委託事業 積算金(14,138,070円) 2019・2020年度日本歯科医学会プロジェクト研究費(2,000,000円) 日本歯科医学会連合研究助成(100,000円)
(3) ライオンアワード助成金	860,000	860,000	0	学会奨励論文賞2件(スポンサー ライオン(株))
5 寄附金収入	-	330,575	△ 330,575	
6 雑収入	200,000	200,000	0	複写権使用料、データベース代、団体保険基金代行、利息 他
事業活動収入計	106,615,070	115,514,740	△ 8,899,670	
2. 事業活動支出				
1 事業費				
(1) 学術大会事業費	24,300,000	28,100,000	△ 3,800,000	
① 第31回学術大会事業費	24,000,000	27,800,000	△ 3,800,000	第31回大会(運営費、Web抄録費、大会経費、パシフィックキャンセル含む)
② 第32回学術大会以降準備費	300,000	300,000	-	その他大会 事前経費 等
(2) 研修会運営事業	3,989,000	4,950,000	△ 961,000	高齢者医療臨床研修会 1,700,000円×2 歯科衛生士セミナー 309,000円 医療倫理研修(APRN/新規30名) 280,000円他
(3) 機関誌刊行事業	16,175,000	12,000,000	4,175,000	第34巻4号～第35巻3号 製作費 310万円×3号分+380万円×1号分 (ガイドライン等掲載編集費、別刷り代含む) 原稿執筆料(55,000円×5名) 第34巻4号～第35巻3号 発送費 60万円×3号分+70万円×1号分
(4) 広報事業費	2,570,000	2,480,000	90,000	
① ホームページ運用事業	690,000	640,000	50,000	ホームページ管理費 11,000円×12カ月、更新費 55万円他
② News Letter 発行事業	1,280,000	1,240,000	40,000	No.39～No.42 製作費(320,000円×4)
③ 広報媒体発行事業費	600,000	600,000	0	広報用フライヤー 作成および印刷費(再版)
(5) 認定制度運営事業費	5,130,000	5,080,000	50,000	
① 認定医・専門医制度	3,170,000	3,120,000	50,000	認定審査委員会費・登録経費・指定研修会運営費 専門医問題管理費、採点経費 認定医業務事務委託費 55,000円×12ヶ月分 専門医業務事務委託費 55,000円×12ヶ月分 等
② 摂食機能療法 専門歯科医師制度	560,000	560,000	0	認定審査委員会費・登録経費・研修会運営費 等 摂食機能療法歯科医師業務事務委託費 11,000円×12ヶ月分
③ 認定歯科衛生士	400,000	400,000	0	認定審査委員会費等
④ 研修単位管理	1,000,000	1,000,000	0	IDカード発行および発送費 40万円(新入会者・紛失者 分) 単位管理システム運用費 330,000円/年、データ移行費 15,000円(3回) 学術大会時運用費 等
(6) 各種委員会活動事業費	4,930,000	4,430,575	499,425	各種委員会活動経費 (金庫費・交通費・活動経費 等、在宅歯科医療関係含む)
(7) 研究調査事業費	28,187,294	38,361,737	△ 10,174,443	2020年度老人保健増進等事業(14,000,000円) 2020年度厚労省委託事業 仮払金(12,087,294円) 2019・2020年度日本歯科医学会プロジェクト研究費(2,000,000円) 日本歯科医学会連合研究助成(100,000円)
(8) 研究業績表彰事業費	1,200,000	1,200,000	0	ライオンアワード(2件)・優秀課題口演賞(2件) 優秀ポスター賞(2件×3部門)+表彰経費
(9) 関連団体交流事業費	2,739,500	2,650,000	89,500	日本老年学会(分担金 200円/2021.2月末日日会員数/840,000円予定) 日本歯科医学会(分担金 120,000円) 日本歯科医学会連合(300円×3,985名 2019.9日会員数/1,189,500円予定) 日本歯科専門医機構(300,000円/2021年度分) 日本歯学系学会協議会(分担金50,000円)、歯保連(分担金40,000円) その他 会議出席経費
(10) 国際渉外事業費	600,000	600,000	-	海外出張費・交流経費 等
(11) その他事業費	84,000	84,000	0	
(12) 支部活動費	1,350,000	1,350,000	0	支部セミナー開催支援費
事業費支出計	91,254,794	101,286,312	△ 10,031,518	
2 管理費				
(1) 会議費	1,579,000	1,400,000	179,000	社員総会、理事会、常任理事会、支部委員会、各種打ち合わせ 等経費
(2) 通信費	1,580,000	1,580,000	0	
① 送料・通信費	1,500,000	1,500,000	0	会費請求郵送料、編集・事務用切手代、市外電話料 他
② メールングリスト管理費	80,000	80,000	0	代購員ML3,300円×12ヶ月分、会員MM 3300円×12ヶ月分
(3) 事務印刷費	2,050,000	2,050,000	0	総会・各種会議資料、審査資料、印刷代、コピー代 他
(4) 消耗品費	230,000	230,000	0	事務用品代、雑誌送用・事務用封筒代 他
(5) 業務委託費	6,800,000	6,600,000	200,000	学会業務事務委託費 532,400円×12ヶ月分(基本料金増分含む) 団体保険事務手数料
(6) 租税公課	558,300	772,300	△ 214,000	法人税、所得税、消費税(前年度収支実績) 公認会計士顧問料(33,000円×12ヶ月分)、決算書作成費、 司法書士代行費(役員登記 手続費) 等
(7) 法人運営費	780,000	760,000	20,000	
(8) 雑費	28,128	28,128	0	慶弔費、名譽会員称号記、筆料 他
管理費支出計	13,405,428	13,420,428	△ 15,000	
事業活動支出計	104,660,222	114,706,740	△ 10,046,518	
事業活動収支差額	1,954,848	808,000	1,146,848	
II 基金積立支出	1,500,000	800,000	700,000	研究事業積立金 750,000円、用器辞典積立金 750,000円
III 予備費支出	1,809	8,000	△ 6,191	
当期収支差額	453,039	-	453,039	単年度黒字
前期繰越収支差額	4,812,957	2,227,252	2,585,705	
次期繰越収支差額	5,265,996	2,227,252	3,038,744	

一般社団法人日本老年歯科医学会2020年度 積立金予算(案)

2020年4月1日～2021年3月31日
(単位:円)

A: 国際交流特別基金

No.0149794

科目	2020年度予算額	2019年度予算額	備 考
事業活動収入			
本会計より積立	0	0	
事業活動収入計	0	0	
事業活動支出			
周年事業積立金へ		3,000,000	
事業活動支出計	0	3,000,000	
当期収支差額	0	△ 3,000,000	
前年度繰越積立額	2,000,000	5,000,000	
次年度繰越積立額	2,000,000	2,000,000	

B: 専門医制度整備特別基金

No.0149809

科目	2020年度予算額	2019年度予算額	備 考
事業活動収入			
本会計より積立	0	0	
事業活動収入計	0	0	
事業活動支出			
周年事業積立金へ	0	3,000,000	
事業活動支出計	0	3,000,000	
当期収支差額	0	△ 3,000,000	
前年度繰越積立額	2,000,000	5,000,000	
次年度繰越積立額	2,000,000	2,000,000	

C: 支部整備特別基金

No.0149825

科目	2020年度予算額	2019年度予算額	備 考
事業活動収入			
本会計より積立	0	0	
事業活動収入計	0	0	
事業活動支出			
周年事業積立金へ	0	3,000,000	
事業活動支出計	0	3,000,000	
当期収支差額	0	△ 3,000,000	
前年度繰越積立額	1,000,000	4,000,000	
次年度繰越積立額	1,000,000	1,000,000	

D: 用語辞典特別基金

No.0192682

2023年3月31日発行予定

科目	2020年度予算額	2019年度予算額	備 考
事業活動収入			
一般会計より繰入	750,000	0	
事業活動収入計	750,000	0	
事業活動支出			
	0	0	
事業活動支出計	0	0	
当期収支差額	750,000	0	
前年度繰越積立額	4,000,000	4,000,000	
次年度繰越積立額	4,750,000	4,000,000	

E: 周年事業積立金 No.0320015

科目	2020年度予算額	2019年度予算額	備 考
事業活動収入			
本会計より積立		800,000	
国際交流特別基金		3,000,000	
専門医制度整備特別基金		3,000,000	
支部整備特別基金		3,000,000	
事業活動収入計	0	9,800,000	
事業活動支出			
準備経費		1,000,000	
周年事業費	5,200,000		
事業活動支出計	5,200,000	1,000,000	
当期収支差額	△ 5,200,000	8,800,000	
前年度繰越積立額	12,208,098	2,500,002	
次年度繰越積立額	7,008,098	11,300,002	

F: 研究事業積立金 No.0430612

科目	2020年度予算額	2019年度予算額	備 考
事業活動収入			
本会計より積立	750,000	0	
事業活動収入計	750,000	0	
事業活動支出			
	0	0	
事業活動支出計	0	0	
当期収支差額	750,000	0	
前年度繰越積立額	500,000	500,000	
次年度繰越積立額	1,250,000	500,000	

G: 渡邊郁馬記念基金 No.0259757

科目	2020年度予算額	2019年度予算額	備 考
事業活動収入			
一般会計より繰入	0	0	
事業活動収入計	0	0	
事業活動支出			
研究業績表彰事業費	300,000	0	
事業活動支出計	300,000	0	
当期収支差額	△ 300,000	0	
前年度繰越積立額	5,567,844	5,567,844	
次年度繰越積立額	5,267,844	5,567,844	

日本老年歯科医学会 2020-2021年度 代議員一覧 (258名)

	会員名	フリガナ	勤務先	支部
1	會田英紀	アイタヒデキ	北海道医療大学歯学部高齢者・有病者歯科学	北海道
2	赤泊圭太	アカドマリケイタ	日本歯科大学新潟病院訪問歯科口腔ケア科	新潟県
3	赤松那保	アカマツ ナホ	鶴見大学歯学部附属病院	神奈川県
4	秋本和宏	アキモ カズヒロ	しらかば歯科	東京都
5	秋本紗恵子	アキモ サエコ	しらかば歯科	東京都
6	浅野隆	アサノ タカシ	日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学分野	千葉県
7	足立融	アダチ アキラ	あい・あだちデンタルクリニック	鳥取県
8	阿部仁子	アベ キミコ	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	東京都
9	有友たかね	アリトモ タカネ	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	東京都
10	有松ひとみ	アリマツ ヒトミ	(一社)大分県歯科衛生士会	大分県
11	飯田崇	イタダ タカシ	日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学講座	千葉県
12	飯田貴俊	イタダ キタシ	神奈川歯科大学大学院歯学研究科全身管理高齢者歯科学分野	神奈川県
13	飯田良平	イタダ リョウヘイ	鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座	神奈川県
14	池邊一典	イケベ カズノリ	大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野	大阪府
15	石垣博之	イシガキ ヒロユキ	石垣歯科医院	和歌山県
16	石川健太郎	イシカワ ケンタロウ	昭和大学歯学部スペース・シャルニース 口腔医学講座 口腔衛生学部門	東京都
17	石川茂樹	イシカワ シゲキ	医療法人芽依美会 石川歯科医院	神奈川県
18	石黒幸枝	イシクロ ユキエ	米原市地域包括医療福祉センターふくしあ	滋賀県
19	石崎憲	イシザキケン	東京歯科大学老年歯科補綴学講座	千葉県
20	石田瞭	イシダ リョウ	東京歯科大学摂食嚥下リハビリテーション研究室	東京都
21	石原広	イシハラヒロシ	北円山クリエイト歯科	北海道
22	市川哲雄	イチカワ テツオ	徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野	徳島県
23	伊藤加代子	イトウ カヨコ	新潟大学医歯学総合病院口腔リハビリテーション科	新潟県
24	伊藤誠康	イトウ マサユキ	日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座	千葉県
25	糸田昌隆	イトダ マサタカ	大阪歯科大学 医療保健学部口腔保健学科	大阪府
26	猪越正直	イノコシ マサナオ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野	東京都
27	伊原良明	イハラ リョウメイ	昭和大学歯学部スペース・シャルニース 口腔医学講座リハビリテーション医学部門	東京都
28	今村嘉宣	イムラヨシノブ	今村歯科医院	神奈川県
29	岩佐康行	イワサヤスユキ	社会医療法人 原土井病院 歯科	福岡県
30	岩崎正則	イワサキ マサノリ	東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム	東京都
31	上田圭織	ウエダ ケイオリ	東京医科歯科大学高齢者歯科学分野	東京都
32	植田耕一郎	ウエダ コウイチロウ	日本大学歯学部摂食機能療法学講座	東京都
33	上田貴之	ウエダ タカユキ	東京歯科大学老年歯科補綴学講座	東京都
34	上田敏雄	ウエダ トシオ	上田歯科医院	佐賀県
35	宇佐美博志	ウサミ ヒロシ	愛知学院大学歯学部高齢者歯科学講座	愛知県
36	潮田高志	ウシタダ タカシ	多摩北部医療センター 歯科口腔外科	東京都
37	梅田慈子	ウメダ ヨシコ	聖隷三方原病院	静岡県

	会員名	フリガナ	勤務先	支部
38	梅本丈二	ウメトジ ヨウジ	福岡大学医学部歯科口腔外科学教室	福岡県
39	江草正彦	エグ サマヒコ	岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター	岡山県
40	江面晃	エヅ ラアキラ	日本歯科大学新潟病院総合診療科	新潟県
41	遠藤眞美	エント ウミ	日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座	千葉県
42	大井孝	オオイ タカシ	石巻赤十字病院歯科	宮城県
43	大岡貴史	オオカ タカシ	明海大学歯学部機能保存回復学講座摂食嚥下リハビリテーション学分野	埼玉県
44	大神浩一郎	オガミ コウイチロウ	東京歯科大学千葉歯科医療センター総合診療科	千葉県
45	大久保真衣	オクボ マイ	東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室	東京都
46	大嶋依子	オシマヨリコ	日本歯科大学附属病院歯科衛生士室	東京都
47	大西啓之	オオニシ ケイジ	おおにし歯科クリニック	滋賀県
48	大野友久	オノトモヒサ	浜松市リハビリテーション病院歯科	静岡県
49	大房航	オオボウ ウタル	鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座	神奈川県
50	大渡凡人	オワタリ ツト	九州歯科大学歯学部リスクマネジメント歯科学分野	福岡県
51	小笠原正	オガサハラ タシ	松本歯科大学大学院口腔健康増進科学講座	長野県
52	岡田和隆	オカダ カズタカ	北海道大学大学院歯学研究院高齢者歯科学教室	北海道
53	岡田芳幸	オカダ ヨシユキ	広島大学病院障害者歯科	広島県
54	岡野佐貴子	オカノ サキコ	聖隷三方原病院	静岡県
55	奥野健太郎	オクノ ケンタロウ	大阪歯科大学高齢者歯科学講座	大阪府
56	奥山秀樹	オクヤマ ヒデキ	佐久市立国保浅間総合病院歯科口腔外科	長野県
57	尾崎研一郎	オザキ ケンイチロウ	足利赤十字病院リハビリテーション科	栃木県
58	尾崎由衛	オザキ ヨシエ	歯科医院 丸尾崎	大分県
59	織田展輔	オリダ ヒロノブ	織田歯科医院	高知県
60	越智守生	オチモリオ	北海道医療大学歯学部クワンゾウリッジ・インテラント補綴学分野	北海道
61	小野智史	オノ サトシ	医療法人 仁友会日之出歯科真駒内診療所	北海道
62	小野高裕	オノ タカヒロ	新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野	新潟県
63	小原由紀	オハラ ヨキ	(独)東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム	東京都
64	加賀谷昇	カガヤ ノボル	加賀谷歯科医院	東京都
65	柿本和俊	カキモト カズトシ	大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科	大阪府
66	柏崎晴彦	カシザキ ハルヒコ	九州大学大学院歯学研究院高齢者歯科学・全身管理歯科学分野	福岡県
67	片口宗久	カタグチ ムネヒサ	一般社団法人 富山県歯科医師会	富山県
68	片倉朗	カタクラ アキラ	東京歯科大学口腔病態外科学講座	東京都
69	金澤学	カナザワ マナブ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	東京都
70	金森大輔	カネモリ ダイスケ	藤田医科大学七栗記念病院歯科	三重県
71	金山昇	カヤマ ノボル	医療法人 恵公会金山歯科医院	山梨県
72	金子信子	カネコ ノブコ	学校法人平成医療学園なにわ歯科衛生専門学校	大阪府
73	金久弥生	カネヒサ ヤヨイ	明海大学保健医療学部口腔保健学科	千葉県
74	鎌田政善	カマタ マサヨシ	とちはら歯科	群馬県
75	河相安彦	カワイ ヤスヒコ	日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座	千葉県

	会員名	フリガナ	勤務先	支部
76	川島貴重	カワシマ たくエ	学校法人 小倉学園新宿医療専門学校	東京都
77	川本章代	カワモト アキヨ	大阪歯科大学附属病院高齢者歯科学講座	大阪府
78	菊谷武	キクタニ タケシ	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	東京都
79	菊池雅彦	キクチ マサヒコ	東北大学病院総合歯科診療部	宮城県
80	貴島真佐子	キシマ マサコ	社会医療法人 若弘会わかくさ竜間リハビリテーション病院	大阪府
81	北川栄二	キタガワ エイジ	J R 札幌病院歯科口腔外科	北海道
82	北川昇	キタガワ ノボル	昭和大学歯学部高齢者歯科学講座	東京都
83	木村年秀	キムラ トシヒデ	造田歯科診療所	香川県
84	木村英敏	キムラ ヒデトシ	木村歯科医院	青森県
85	草間里織	クサマ サオリ	昭和大学横浜市北部病院	神奈川県
86	窪木拓男	クボ キタクオ	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野	岡山県
87	久保田一政	クボ タカズ マサ	東京医科歯科大学高齢者歯科学分野東京医科歯科大学歯学部 ^ス シヤクア1	東京都
88	久保田潤平	クボ タジュンペイ	九州歯科大学学生体機能学講座老年障害者歯科学分野	福岡県
89	久保田智彦	クボ タトモヒコ	社会福祉法人若楠 若楠療育園	佐賀県
90	隈倉慎介	クマクラ シンスケ	くまくら歯科医院	埼玉県
91	蔵本千夏	クラモト チカ	医療法人 静和会 浅井病院歯科診療部	千葉県
92	栗原由紀夫	クリハラ ユキオ	栗原歯科医院	静岡県
93	玄景華	ゲンケイカ	朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野	岐阜県
94	古池崇志	コイケ タカシ	東京歯科大学老年歯科補綴学講座	千葉県
95	越野寿	コシノ ヒサシ	北海道医療大学歯学部咬合再建補綴	北海道
96	小柴慶一	コシバ ケイイチ	こしば歯科医院	埼玉県
97	小玉剛	コタマ ツヨシ	こだま歯科医院	東京都
98	児玉実穂	コタマ ミホ	日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科	東京都
99	小林健一郎	コバ ケンイチロウ	こばやし歯科クリニック	東京都
100	小林直樹	コバ ケンナオキ	特定医療法人 万成病院	岡山県
101	駒ヶ嶺友梨子	コマガ ミネユリコ	東京医科歯科大学大学院医歯薬学総合研究科 高齢者歯科学分野	東京都
102	小松知子	コマツ トモコ	神奈川歯科大学大学院全身管理医歯学講座 障害者歯科学	神奈川県
103	小見山道	コミヤマ ミチム	日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学講座	千葉県
104	小向井英記	コムカイ ヒデキ	小向井歯科クリニック	奈良県
105	権田知也	ゴンダ トモヤ	大阪大学大学院歯学研究科有床義歯補綴学高齢者学分野	大阪府
106	近藤尚知	コンドウ ヒサトモ	岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座	岩手県
107	齊藤朋愛	サイトウ トモヨシ	齊藤歯科医院	福井県
108	酒井克彦	カワイ カツヒコ	東京歯科大学市川総合病院オーラルメディスン・病院歯科学講座	千葉県
109	阪口英夫	カガチ ヒデオ	医療法人永寿会 陵北病院歯科診療部	東京都
110	坂口勝	カガチ マサル	坂口歯科診療所	大阪府
111	佐々木啓一	ササキ ケイチ	東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野	宮城県
112	貞森紳丞	サダモリ シンスケ	厚生労働省 中国四国厚生局岡山事務所	岡山県
113	佐藤亨	サウトル	東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座	東京都

	会員名	フリガナ	勤務先	支部
114	佐藤裕二	サウ ユウジ	昭和大学歯学部高齢者歯科学講座	東京都
115	佐藤佑介	サウ ユウスケ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	東京都
116	佐藤由紀子	サウ ユキコ	社会福祉法人長寿村 介護老人保健施設大田ナーシングホーム翔裕園	東京都
117	澤島果林	サシマ カリン		静岡県
118	三條祐介	サンジョウ ユウスケ	東京歯科大学市川総合病院	千葉県
119	七田俊晴	シチタ トシハル	昭和大学歯学部高齢者歯科学講座	東京都
120	品川隆	シナガワ タカシ	平成横浜病院 歯科口腔外科	神奈川県
121	篠崎千奈	シノザキ チナ	しのざき歯科医院	埼玉県
122	清水潤	シミス ジュン	高木歯科医院	島根県
123	清水崇雪	シミス タカキ	清水歯科	愛知県
124	下平修	シモダ イロサム	昭和大学歯学部高齢者歯科学講座	東京都
125	白井肇	シライハジメ	岡山大学病院 総合歯科	岡山県
126	白野美和	シロノミワ	日本歯科大学新潟病院総合診療科	新潟県
127	菅武雄	カネ タケオ	鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座	神奈川県
128	菅野亜紀	カネノ アキ	東京歯科大学短期大学	東京都
129	杉原直樹	スギハラ ナキ	東京歯科大学衛生学講座	東京都
130	杉山哲也	スギヤマ テツヤ	東京歯科大学千葉歯科医療センター摂食嚥下リハビリテーション科	千葉県
131	鈴木哲也	スズキ テツヤ	東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科 口腔機能再建技工学分野	東京都
132	鈴木典子	スズキ ノリコ	鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座	神奈川県
133	鈴木啓之	スズキ ヒロキ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	東京都
134	鈴木史彦	スズキ シヒコ	奥羽大学歯学部口腔外科学講座 歯科麻酔学分野	福島県
135	須田牧夫	スダ マキオ	医療法人社団 横浜みらい会横浜南仲通歯科	神奈川県
136	角保徳	ツノキ 保徳	国立長寿医療研究センター 歯科口腔先端医療開発センター	愛知県
137	高木治仁	タカキ 治仁	高木歯科医院	石川県
138	高橋一也	タカハシ カズヤ	大阪歯科大学高齢者歯科学講座	大阪府
139	高橋健	タカハシ ケン	常陸大宮市国民健康保険美和診療所	茨城県
140	高橋賢晃	タカハシ ケン	日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科	東京都
141	高橋徳昭	タカハシ トシアキ	伊予市国民健康保険直営中山歯科診療所	愛媛県
142	高端泰伸	タカハシ ヤスノブ	高端歯科	兵庫県
143	高橋裕	タカハシ ユウカ	福岡歯科大学	福岡県
144	高濱豊	タカハマ ユウカ	愛知学院大学歯学部高齢者歯科学講座	愛知県
145	高柳久与	タカヤナギ ヒサユ	聖隷三方原病院リハビリテーション部	静岡県
146	武井典子	タケイ ノリコ	公益財団法人ライオン歯科衛生研究所研究開発室	東京都
147	竹内一夫	タケウチ カズオ	愛知学院大学歯学部高齢者歯科学講座	愛知県
148	竹内周平	タケウチ シュウヘイ	医療法人社団 竹印竹内歯科医療院	東京都
149	竹島浩	タケシマ ヒロシ	明海大学歯学部病態診断治療学講座顎顔面外科学分野Ⅰ	埼玉県
150	武部純	タケベ シュン	愛知学院大学歯学部有床義歯学講座	愛知県
151	田地豪	タケヂ タカシ	広島大学大学院医系科学研究科口腔生物工学研究室	広島県

	会員名	フリガナ	勤務先	支部
152	田中彰	タカアキラ	日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座	新潟県
153	田中彰	タカアキラ	タナカ歯科医院	山口県
154	田中清雄	タカキヨオ	愛知学院大学歯学部冠・橋義歯学講座	愛知県
155	田中敏光	タカトシツ	田中歯科医院	埼玉県
156	田中信和	タカノブカズ	大阪大学歯学部顎口腔機能治療部	大阪府
157	田中祐子	タカユウコ	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	東京都
158	谷口裕重	タニグチヒロシゲ	朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野	岐阜県
159	田原靖章	タハラヤスアキ	タハラデンタルクリニック	千葉県
160	玉置勝司	タマキカツシ	神奈川歯科大学大学院歯学研究科顎咬合機能回復補綴医学分野	神奈川県
161	田村暢章	タムラノブアキ	明海大学歯学部	埼玉県
162	田村文誉	タムラフミヨ	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	東京都
163	津賀一弘	ツカカズヒロ	広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学研究室	広島県
164	角町正勝	ツノマチマサカツ	角町歯科医院	長崎県
165	寺尾導子	テラオミチコ	医療法人臨生会 吉田歯科分院	北海道
166	寺中智	テラカサチ	足利赤十字病院 リハビリテーション科	栃木県
167	戸原雄	トハラユウ	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	新潟県
168	戸原玄	トハラハルカ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野	東京都
169	富田健嗣	トミタケンジ	富田歯科	愛知県
170	内藤真理子	ナイトウマリコ	広島大学大学院医歯薬保健学研究科口腔保健疫学研究室	広島県
171	永尾寛	エガオカン	徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野	徳島県
172	永尾康	エガオヤスシ	埼玉県総合リハビリテーションセンター 歯科診療部 歯科診療科	埼玉県
173	中川量晴	ナカガワリカズハル	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	東京都
174	中島純子	ナカジマジュンコ	東京歯科大学老年歯科補綴学講座	東京都
175	中津百江	ナカツモトエ	岡根歯科医院	東京都
176	中根綾子	ナカネアヤコ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	東京都
177	中村康典	ナカムラヤスリ	(独)国立病院機構鹿児島医療センター 歯科口腔外科	鹿児島県
178	中山潤利	ナカヤマエンリ	日本大学歯学部摂食機能療法科	東京都
179	那須郁夫	ナスイクオ	北原学院歯科衛生専門学校	千葉県
180	難波亮二	ナハタリョウジ	なんば歯科医院	大分県
181	二川浩樹	ニカワヒロキ	広島大学大学院医歯薬保健学研究科口腔生物工学研究室	広島県
182	西恭宏	ニシヤスヒロ	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野	鹿児島県
183	西川毅	ニシカワタツシ	西川歯科医院	長野県
184	西村正宏	ニシムラマサヒロ	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野	鹿児島県
185	西脇恵子	ニシワキケイコ	日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科	東京都
186	野口智子	ノグチトモコ	昭和大学歯学部高齢者歯科学教室	東京都
187	野末真司	ノスエシンジ	昭和大学スパーシャルニース 口腔医学講座口腔リハビリテーション医学部門	東京都
188	野原幹司	ノハラカンジ	大阪大学歯学部附属病院顎口腔機能治療部	大阪府
189	野本亜希子	ノトアキコ	浜松市リハビリテーション病院歯科	静岡県

	会員名	フリガナ	勤務先	支部
190	齋島弘之	ハイシマ ヒロユキ	松本歯科大学地域連携歯科学講座	長野県
191	長谷剛志	ハセ タカシ	公立能登総合病院 歯科口腔外科	石川県
192	長谷川洋人	ハセガワ ヒト	長谷川歯科医院	茨城県
193	畠山桂郎	ハタヤマ ケイロウ	畠山歯科医院	秋田県
194	服部佳功	ハツリ ヨシノリ	東北大学大学院歯学研究科加齢歯科学分野	宮城県
195	花形哲夫	ハナガ タテツオ	花形歯科医院	山梨県
196	瀧洋平	ハマ ヨウヘイ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	東京都
197	羽村章	ハムラ アキラ	日本歯科大学生命歯学部高齢者歯科学	東京都
198	林 甫	ハヤシ ハジメ	林歯科医院	京都府
199	原豪志	ハラ コウジ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	東京都
200	原哲也	ハラ テツヤ	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科咬合・有床義歯補綴学分野	岡山県
201	久野彰子	ヒサノ アキコ	日本医科大学付属病院口腔科	東京都
202	日山邦枝	ヒヤマ クニエ	昭和大学図書館	東京都
203	平塚正雄	ヒラツカ マサオ	医療法人 博仁会福岡リハビリテーション病院歯科	福岡県
204	平野浩彦	ヒラノ ヒロヒコ	(独)東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科	東京都
205	弘田克彦	ヒロタ カツヒコ	高知学園短期大学医療衛生学科歯科衛生専攻	高知県
206	弘中祥司	ヒロナカ ショウジ	昭和大学歯学部スぺシャルニース 口腔医学講座 口腔衛生学部門	東京都
207	深山治久	フカヤマ ハルヒサ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科麻酔・生体管理学分野	東京都
208	福永暁子	フクナガ アキコ	聖隷浜松病院歯科	静岡県
209	藤井航	フジ イワタル	九州歯科大学口腔保健学科地域・多職種連携教育ユニット	福岡県
210	藤田尚	フジ タヒサシ	新潟県立看護大学	新潟県
211	藤原ゆみ	フジワラ ユミ	一般社団法人 岡山県歯科衛生士会	岡山県
212	古瀬信久	フルセ ノブヒサ	医療法人社団 医信会古瀬歯科医院	東京都
213	古屋純一	フルヤ ジュンイチ	昭和大学歯学部高齢者歯科学講座	東京都
214	外園智唯	ソトノ ノトモタカ	江戸川区口腔保健センター	東京都
215	星野由美	ホシノ ユミ	神奈川歯科大学短期大学部歯科衛生学科	神奈川県
216	細矢哲康	ホシヤ ノリヤス	鶴見大学歯学部歯内療法学講座	神奈川県
217	堀一浩	ホリ カズヒロ	新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野	新潟県
218	堀健介	ホリ ケンスケ	ほり歯科医院	宮崎県
219	前川賢治	マエカワ ケンジ	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野	岡山県
220	町田麗子	マチダ レイコ	日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科	東京都
221	松尾浩一郎	マツオ コウイチロウ	藤田医科大学歯科・口腔外科学講座	愛知県
222	松村圭祐	マツムラ ケイスケ	昭和大学歯科病院高齢者歯科学講座	東京都
223	松村英雄	マツムラ ヒデオ	日本大学歯学部歯科補綴学第III講座	東京都
224	松本信久	マツモト ノブヒサ	松本歯科医院	熊本県
225	松山美和	マツヤマ ミワ	徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔機能管理学分野	徳島県
226	馬見塚賢一郎	マミヅカ ケンイチロウ	医療法人社団 成扶会馬見塚デンタルクリニック	東京都
227	三浦宏子	ミウラ ヒロコ	北海道医療大学歯学部保健衛生学分野	北海道

	会員名	フリガナ	勤務先	支部
228	三浦雅明	ミウラ マサキ	埼玉県総合リハビリテーションセンター-歯科診療部	埼玉県
229	水橋史	ミズハシ シ	日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座	新潟県
230	皆木省吾	ミナギ ショウゴ	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科咬合・有床義歯補綴学分野	岡山県
231	水口俊介	ミナグチ シュンスケ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	東京都
232	宮城敦	ミヤキ アツシ	神奈川歯科大学全身管理医歯学講座障害者歯科学分野	神奈川県
233	宮本佳宏	ミヤモト ヨシヒロ	愛知学院大学歯学部高齢者歯科学講座	愛知県
234	村田比呂司	ムラタ ヒロシ	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野	長崎県
235	元橋靖友	モトハシ ヤスユキ	社会医療法人財団 大和会武蔵村山病院歯科	東京都
236	森崎重規	モリサキ シゲキ	医療法人 鶴岡クリニック歯科・口腔外科	大分県
237	森下志穂	モリシタ シホ	明海大学保健医療学部口腔保健学科	千葉県
238	森田薫	モリタ カオル	森田歯科医院	広島県
239	森田一彦	モリタ カズヒコ	森田歯科医院	静岡県
240	森田浩光	モリタ ヒロミツ	福岡歯科大学 口腔歯学部総合歯科学講座 訪問歯科センター	福岡県
241	安田順一	ヤスタ ジュンイチ	朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野	岐阜県
242	柳澤光一郎	ヤナギサワ コウイチロウ	新前橋歯科医院	群馬県
243	山内智博	ヤマウチ トモヒロ	がん・感染症センター都立駒込病院 歯科・口腔外科	東京都
244	山口麻子	ヤマグチ マサコ	昭和大学病院歯科・歯科口腔外科	東京都
245	山崎裕	ヤマザキ ユウタカ	北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室	北海道
246	山下佳雄	ヤマシタ ヨシオ	佐賀大学医学部歯科口腔外科学講座	佐賀県
247	山本健	ヤマモト ケン	鶴見大学歯学部地域歯科保健学	神奈川県
248	山森徹雄	ヤマモリ テツオ	奥羽大学歯学部歯科補綴学講座	福島県
249	吉岡裕雄	ヨシオカ ヒロオ	日本歯科大学新潟病院訪問歯科口腔ケア科	新潟県
250	吉川峰加	ヨシカワ ミネカ	広島大学大学院医歯薬保健学研究科先端歯科補綴学	広島県
251	吉田光由	ヨシダ ミツヨシ	広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学研究室	広島県
252	吉成伸夫	ヨシナリ ノブオ	松本歯科大学歯科保存学講座(歯周)	長野県
253	米山武義	ヨネヤマ タケヨシ	米山歯科クリニック	静岡県
254	竜正大	リュウ マサヒロ	東京歯科大学老年歯科補綴学講座	東京都
255	若林則幸	ワカバ ヌシノユキ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 部分床義歯補綴学	東京都
256	渡邊哲	ワタナベ テツシ	愛知学院大学歯学部顎顔面外科学講座	愛知県
257	渡邊裕	ワタナベ ユウタカ	北海道大学大学院歯学研究院口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室	北海道
258	渡部芳彦	ワタナベ ヨシヒロ	東北福祉大学総合マネジメント学部	宮城県

一般社団法人日本老年歯科医学会 役員名簿
(2020-2021年度)

	常	理事	幹事	担当役員		
1	理事長	○	水口俊介	金澤 学		
2	副理事長 (定款第18条2の副理事長)	○	羽村 章	—		
3	副理事長	○	片倉 朗	—		
4	総務担当	○	上田貴之	竜 正大		
5	学術担当	○	池邊一典	高橋利士	水口俊介	
6	編集担当	○	小野高裕	堀 一浩	片倉 朗	
7	財務担当	○	山崎 裕	岡田和隆	羽村 章	
	(涉外/IAGG-AOR)	○	松尾浩一郎	—		
8	教育担当		小笠原 正	中根綾子	羽村 章	
9	社会保険担当		菊谷 武	佐川敬一郎	水口俊介	
10	ボランティア担当		戸原 玄	原 豪志	片倉 朗	
11	在宅歯科医療		佐藤 裕二	古屋純一	水口俊介	
12	摂食嚥下リハビリテーション担当		吉田 光由	高橋賢晃	片倉 朗	
13	国際渉外担当		松尾浩一郎	太田 緑	水口俊介	
14	広報担当		河相安彦	伊藤誠康	水口俊介	理事長指名
15	研修担当		竹島 浩	田村暢章	片倉 朗	理事長指名
16	学術用語担当		大神浩一郎	大久保真衣	羽村 章	
17	歯科衛生士関連担当		石黒幸枝	小原由紀	水口俊介	
18	認定制度担当		柏崎晴彦	山添淳一	片倉 朗	理事長指名
19	専門医試験問題担当		高橋一也	川本章代	羽村 章	
20	多職種連携担当		岩佐康行	若杉葉子	片倉 朗	
21	支部組織・地域保健医療福祉担当		平野浩彦	小原由紀	羽村 章	
22	学会間連携担当		弘中祥司	石川健太郎	片倉 朗	理事長指名
23	表彰担当		米山武義	森田一彦	羽村 章	
24	規程担当		阪口英夫	遠藤眞美	片倉 朗	理事長指名
25	倫理担当		服部佳功	田中恭恵	羽村 章	理事長指名
26	倫理審査担当		糸田昌隆	貴島真佐子	水口俊介	理事長指名
27	利益相反担当		菅 武雄	赤松那保	羽村 章	理事長指名
28	特任委員会 (病院歯科) 担当		大野友久	尾崎研一郎	水口俊介	
29			會田英紀	—		理事長指名
30			渡邊 裕	—		理事長指名

監事 (2名)	森戸光彦	山根源之
---------	------	------

名誉会員候補者：下山和弘

推薦理事：水口俊介、戸原 玄

【学会活動歴】

入会日：1990年3月1日

代議員：1992年4月就任 現在に至る

理事：1996年4月就任 現在に至る

常任理事：1996年4月就任 現在に至る

常任理事担当：会計、歯科衛生士、認定制度 を歴任

副理事長：2014年6月～2018年6月

編集委員会 委員長：2010年6月～2012年6月

特任委員会（代議員選出）委員長：2018年6月～2020年6月

第22回学術大会 大会長

名誉会員候補者：櫻井 薫

推薦理事：上田貴之、那須郁夫

【学会活動歴】

入会日：1990年5月10日

代議員：1998年4月就任 現在に至る

理事：2000年4月就任 現在に至る

常任理事：2002年4月就任 現在に至る

常任理事担当：学術教育、会計、認定制度 を歴任

理事長：2014年6月～2018年6月

副理事長：2012年6月～2014年6月

学術委員会 委員長：2010年6月～2012年6月

第28回学術大会大会長（2017年6月開催）

名誉会員候補者：高井良招

推薦理事：那須郁夫、渡邊 裕

【学会活動歴】

入会日：1996年6月27日

代議員：2006年6月～現在に至る

理事：2008年6月～2018年6月

学会間連携委員会 委員長：2014年6月～2016年6月

規程委員会 委員長：2016年6月～2018年6月

名誉会員候補者：福島正義

推薦理事：水口俊介、小野高裕

【学会活動歴】

入会日：1991年11月4日

代議員：2004年4月就任 現在に至る

理事：2016年6月～2018年6月

教育問題検討委員会 委員長：2016年6月～2018年6月

名誉会員候補者：眞木吉信

推薦理事：羽村 章、上田貴之

【学会活動歴】

入会日：1986年4月1日

代議員：1991年4月就任 現在に至る

理事：1996年4月就任 現在に至る

常任理事：1996年4月～2014年6月

常任理事担当：編集、渉外・広報、学術用語 を歴任

国際渉外委員会 委員長：2010年6月～2012年6月

教育問題検討委員会 委員長：2012年6月～2014年6月

学術用語委員会 委員長：2014年6月～現在に至る

日本老年歯科医学会 学術委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/20

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） ＊2019 年 12 月～2020 年 5 月の間

1) 第 3 回委員会：2020 年 2 月 10 日（月）14:30～15:30：AP 品川

内容：学会設立 30 周年記念シンポジウム，同大会学術委員会シンポジウム，2020 年厚労省委託事業への対応，日本歯科医学会プロジェクト研究テーマ案について協議を行った。
その他、メールによる協議を適宜行った。

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 学術大会への対応（プログラム編成，委員会シンポジウム，課題口演等）

2) 口腔機能低下症の今後のプロモーション

書籍・ブックレット・リーフレット

3) 厚生労働省委託事業検討委員会活動のサポート

令和元年度事業報告および令和 2 年度同事業の内容検討と受注に向けての作業

4) 日本歯科医学会 プロジェクト研究、日本歯科医学会連合医療問題関連事業の検討

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

1) 口腔機能低下症の診断基準の改定（不要な診断項目の削除の検討）

2) 社会保険委員会との連携した共同研究（次期保険改定に向けてのエビデンス作り）

3) 学術大会への対応

4) JSG クラウドと口腔機能低下症関連アプリケーションの運用

以上

日本老年歯科医学会 学術委員会
2020年度活動計画

2020/6/10

1. 委員会構成

委員長 池邊一典 副委員長 古屋純一
委員 猪原 健, 上田貴之, 金澤 学, 田村文誉, 永尾 寛, 松尾浩一郎, 山崎 裕,
山本 健, 吉田光由 (オブザーバ 津賀一弘)
幹事 高橋利士

2. 2020-2021年度の活動目標

当委員会がこれまでに行ってきた活動を継続し、口腔機能低下症に関するアプリケーションやクラウドの運用、共同事業や共同研究等を進める。また、関係各所との連携・協力のさらなる強化を図り、質の高いエビデンス構築のための学術研究活動を活発化させる。

学術大会のシンポジウム・講演、講習会等を充実させ、本学会員ならびに歯科医療関係者に対して、常に新しい情報を発信することにより、知識をアップデートする場を提供し、優秀な人材を育成する。

3. 2020年度の活動計画

- 1) 口腔機能低下症の啓発（広報委員会と連携）
- 2) 口腔機能低下症の診断基準の改定（合理的な診断法や生理的な意義の再検討）
- 3) 次期保険改定に向けてのエビデンス作り（社会保険委員会と連携）
- 4) 日本歯科医学会連合 医療問題関連事業 調査研究への協力
- 5) 学術大会への対応（プログラム編成、委員会シンポジウム、課題口演等）
- 6) JSGクラウドと口腔機能低下症関連アプリケーションの運用

4. 2020年度委員会開催予定（Web会議含む）

- 1) 第1回委員会：2020年7月頃に開催予定（Web会議の可能性あり）
- 2) その後の委員会については、年度内にさらに2回程開催予定（時期は現時点では未定）

5. その他

以上

日本老年歯科医学会 編集委員会
2018・2019年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/11

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） ＊2019年12月～2020年5月の間

1) 第3回委員会：2020年1月24日（金）17:00～18:20：八重洲倶楽部第2会議室

内 容：論文査読（34巻4号）の確認、「認定医審査症例レポート」について、優秀奨励論文賞への編集委員会からの推薦論文について、学術大会の原稿依頼について等

2) 第4回委員会：2020年4月10日（金）17:00～18:00（Web会議にて実施）

内 容：論文査読（35巻1号）の確認、「臨床報告」の書面による同意必須化について、今後の編集委員会開催方式（Web会議を継続するか）について等

「老年歯科医学」投稿・出版状況												
	2008年 23巻	2009年 24巻	2010年 25巻	2011年 26巻	2012年 27巻	2013年 28巻	2014年 29巻	2015年 30巻	2016年 31巻	2017年 32巻	2018年 33巻	2019年 34巻
原著	13(13)	18(7)	8(9)	21(14)	23(12)	11(7)	13(9)	12(7)	11(7)	11(7)	10(8)	9(5)
臨床報告	5(5)	7(8)	8(8)	8(7)	6(6)	2(2)	4(4)	6(5)	5(6)	7(6)	0(0)	3(1)
調査報告	5(7)	4(4)	3(5)	5(5)	6(7)	6(9)	3(1)	4(7)	1(3)	1(2)	5(5)	4(7)
活動報告	2(0)	0(0)	1(3)	1(1)	3(2)	2(2)	2(2)	1(0)	0(0)	1(1)	2(4)	1(1)
その他(紹介等)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	25(25)	29(19)	20(25)	35(27)	38(27)	22(20)	22(16)	23(19)	17(16)	20(16)	17(17)	17(14)

()内は出版時の数(前年度からの繰り越し分および種別変更後の分も含む)。投稿数は純粋に投稿があった分のみを表示。

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果：以下の活動を行った。

- 1) 「老年歯科医学」33巻2号～35巻1号の編集作業（論文査読および原稿依頼）を行った。
- 2) 「学会の沿革」として、歴代理事長に就任当時の出来事を振り返っていただいた内容を掲載した。
- 3) 第29回・30回学術大会の企画演題の主な演者に対して寄稿依頼を行い、総説として学会誌に掲載した。今後の学術大会の企画演題の演者へも継続して寄稿依頼を行う予定である。
- 4) 査読業務の迅速化・郵送代の軽減を目的に査読をメールにて行うように変更した。それに伴い、論文投稿もメールにて受け付けることとなった。
- 5) 新たに「認定医審査症例レポート」を設け、学会誌のオンライン版に掲載することとなった。症例レポートに限らず、オンライン掲載が望ましいと考えられる記事や報告については都度編集委員会で諮っていくこととなった。

3. 引き継ぎ事項：以下の件については次期への引き継ぎ

- 1) 本学会誌の論文を二次出版として海外誌（Gerodontology）へ投稿する件について、海外誌が二次出版を受け入れてくれるか、受け入れてくれた場合、原著として扱ってもらえるか等の懸念事項を国際渉外委員会、Gerodontology誌の編集委員の先生方と相談しながら、引き続き継続審議事項とすることとなった。
- 2) 今後の編集委員会の開催方式に関して、Brainstormingな会議はFace to Faceがよいが、報告中心の会議にはWeb会議が有用である点、遠方から参加いただいている委員の負担軽減につながる点などから、セキュリティ面での不安が解消できればZoomを用いたWeb会議を継続してもよいのではとの意見が挙がったため、ご検討をお願いしたい。
- 3) 2019年と比べて論文投稿が増加傾向にあるが、引き続き、企画原稿の立案など「老年歯科医学」の安定・継続刊行にご検討をお願いしたい。

以上

日本老年歯科医学会 編集委員会
2020 年度活動計画

2020/6/5

1. 委員会構成

委員長 小野高裕 副委員長 枝広あや子
委員 會田英紀, 岩崎正則, 梅本丈二, 大野友久, 柏崎晴彦, 久保田一政, 谷口裕重,
田村文誉, 内藤真理子, 堀 一浩 (幹事兼任)

2. 2020-2021 年度の活動目標

- 1) 「老年歯科医学」35 巻 2 号～37 巻 1 号の安定・継続刊行
- 2) 企画原稿の増加への取り組み

3. 2020 年度の活動計画

- 1) 投稿論文に関して, 原著論文の増加策を講じる
- 2) 査読の効率化・迅速化など適正化を図る (投稿論文増加により編集委員会だけでは査読業務が遂行できない場合における, 外部査読者への依頼等)
- 3) 読者が得られる情報として, 総説, 特集などの企画を検討する

4. 2020 年度委員会開催予定 (Web 会議含む)

- 1) 第 1 回委員会: 2020 年 7 月下旬 予定
内容: 学会誌 35 巻 2 号編集の件
- 2) 第 2 回委員会: 2020 年 10 月下旬 予定
内容: 学会誌 35 巻 3 号編集の件
- 3) 第 3 回委員会: 2020 年 1 月下旬 予定
内容: 学会誌 35 巻 4 号編集の件

5. その他

- 1) 本学会誌の論文を二次出版として海外誌 (Gerodontology) へ投稿する件について, 海外誌が二次出版を受け入れてくれるか, 受け入れてくれた場合, 原著として扱ってもらえるか等の懸念事項を国際渉外委員会, Gerodontology 誌の editorial board と相談しながら, 前期の編集委員会から引き続き継続審議事項とする。
- 2) 2019 年と比べて論文投稿が増加傾向にある (去年 1 年間で 15 編の投稿であったが, 今年は 6 月 4 日時点ですでに 15 編の投稿がある) が, 今後も継続するかは不明である。よって, 引き続き, 会員への投稿呼びかけや企画原稿の立案など「老年歯科医学」の安定・継続刊行に必要な策を関連委員会と連携して実施する。

以上

日本老年歯科医学会 財務委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/12

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

1) 第1回委員会： 2020年1月19日（水）16:00～18:00：AP品川

内容：2019年度収支報告について

2020年度予算案の作成について

研修会費、講師謝礼、論文掲載料の見直しについて

2) 会計監査： 2020年5月21日（木）14:30～16:30：Web開催

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

- 1) 学会予算の管理および、執行に関する取り決めの協議
- 2) 積立金の運用計画について検討した。
- 3) 「講師謝礼等に関する規則」の一部見直しと執筆謝礼の適切な運用を確認した。
- 4) 機関誌発行経費および論文掲載料、研修会開催に係る経費の取扱い等について検討した。
- 5) 老年歯科医学会学会設立30周年記念事業に関する財政支援に関する検討

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

- 1) 積立金については、現在の「支部整備」「専門医制度整備」については、2020年学術大会終了後に見直し、会員の会員管理や会員向けツールの充実などに活用する検討を継続する。
- 2) 老年歯科医学研究助成事業の取り扱いに関する資金管理の監督についての検討
- 3) 新型コロナウイルス感染拡大による、学会事業の中止、延期等にかかる費用収支のとりまとめと、適切な財務管理
- 4) 新型コロナウイルス感染拡大によって停滞した学会事業、会員サービスへの財政的支援
- 5) 財政基盤の確立、有事のための積立金の創設

以上

日本老年歯科医学会財務委員会
2020年度活動計画

2020/6/6

1. 委員会構成

委員長 山崎 裕 副委員長 那須郁夫
委員 渡邊 裕
幹事 岡田和隆

2. 2020-2021年度の活動目標

学会における収支決算・予算案の作成を行うとともに、積立金や研究助成事業に係る管理・運用における問題抽出および改善に向けた検討を行う。

3. 2020年度の活動計画

- 1) 新型コロナウイルス感染拡大による、学会事業の中止、延期等にかかる費用収支のとりまとめと、適切な財務管理を行う。
- 2) 新型コロナウイルス感染拡大によって停滞した学会事業、会員サービスへの財政的支援を行う。
- 3) 積立金については、現在の「支部整備」「専門医制度整備」に関して、2020年学術大会終了後に見直し、会員管理や会員向けツールの充実などに活用する検討を継続する。

4. 2020年度委員会開催予定（Web会議含む）

- 1) 第1回委員会：2021年1月下旬
内容：翌年度の予算会議
- 2) 第2回委員会：2021年4月頃
内容：2020年度監査会
- 3) その他メール会議で対応する予定
内容：予定外の予算執行に関する検討

※2019年度監査会：2020年5月21日（木）14:30～16:30 Web開催済

5. その他

以上

日本老年歯科医学会 教育委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/11

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

1) 第3回委員会：2019年12月16日（月）メール会議

内容：「診療参加型臨床実習マニュアル 嚥下内視鏡検査」のねらいについての修正案について協議し、下記の通り変更することとした。

摂食嚥下障害患者に対して、①咽頭期の機能的異常の診断、②器質的異常の評価、③代償的方法とリハビリテーション手技の効果確認、④患者・家族・メディカルスタッフへの教育指導などを実施するために、嚥下内視鏡検査の知識と基本的手技についてマネキン実習を通して習得する。

2) 第4回委員会：2020年1月16日（木）日本歯科大学多摩クリニック 会議室

内容：歯科衛生士教育の老年歯科医学(高齢者歯科学)教育基準案の作成

各委員から提出頂いた基準案の項目と歯科衛生士三大業務部分の項目統合および項目選定

3) 第5回委員会：2020年3月2日（月）メール会議

内容：用語委員会からの指摘についての検討・修正

4) 第6回委員会：2020年3月11日(水) メール会議

内容：「わが国の歯科大学・大学歯学部における訪問歯科診療教育と附属病院における訪問歯科診療の実態」の論文についての検討

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 診療参加型臨床実習マニュアル：「移乗介助」、「嚥下内視鏡検査」

指導者用ファイル、学生資料、チェックリストの作成

2) 老年歯科医学教育基準の作成

3) 歯科衛生士教育の老年歯科医学(高齢者歯科学)教育基準案の検討

4) 「わが国の歯科大学・大学歯学部における訪問歯科診療教育と附属病院における訪問歯科診療の実態」の検討についての協力（老年歯科医学会雑誌へ投稿）

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

1) 歯科衛生士老年歯科医学教育基準案の作成

2) 新型コロナウイルス感染症の蔓延後の歯学部教育（講義・臨床実習）の実態調査

3) 診療参加型臨床実習マニュアルの作成

以上

日本老年歯科医学会 教育委員会
2020年度活動計画

2020/6/5

1. 委員会構成

委員長 小笠原 正 副委員長 會田 英紀
委員 有友たかね、伊藤加代子、大渡凡人、菅野亜紀、村田比呂司
幹事 中根綾子

2. 2020-2021年度の活動目標

- 1) 新型コロナウイルス感染症の蔓延後の歯学部教育（講義・臨床実習）の実態調査
- 2) 歯科衛生士老年歯科医学教育基準案の作成
- 3) 診療参加型臨床実習マニュアルの作成

3. 2020年度の活動計画

- 1) 新型コロナウイルス感染症の蔓延後の歯学部教育（講義・臨床実習）の実態調査
6月中 アンケート用紙の完成
7月1日 アンケート依頼
7月8日 アンケート締切
7月13日 集計結果の報告
- 2) 歯科衛生士老年歯科医学教育基準案の作成
7月中旬 基準案のスリム化の方向性の確立
8月 スリム化の基準案（委員会案）
歯科衛生関連委員会へ検討依頼
9月 理事会へ提出
11月 完成

4. 2020年度委員会開催予定（Web会議含む）

- 1) 第1回委員会：2020年6月 日（ ）未定 予定
内容：①新型コロナウイルス感染症の蔓延後の歯学部教育（講義・臨床実習）の実態調査
アンケート用紙の検討
②歯科衛生士老年歯科医学教育基準案のスリム化の方向性
③今年度の予定
- 2) 今年度夏ごろと年明けに開催する予定
内容：歯科衛生士老年歯科医学教育基準案の作成
診療参加型臨床実習マニュアルの作成
- 3) その他メール会議で対応する予定
決定したメール会議なし

5. その他

診療参加型臨床実習マニュアルの作成

以上

日本老年歯科医学会 社会保険委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/15

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

1) 第3回委員会：2020年3月28日（土）メール会議

内容：2020年度診療報酬改定における「非経口摂取患者口腔粘膜処置」の指針（案）について協議した。

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

- 1) 口腔機能低下症に関して、管理マニュアル案の作成を学術委員会とともに行った。
- 2) 口腔機能低下症患者さん配布用紙の作成を行った。（学術委員会の審議あり）
- 3) 医療技術評価提案書の作成を行い、日本歯科医学会へ提出した。
- 4) 歯保連試案の作成を行った。
- 5) 2020年診療報酬改定に係る「非経口摂取患者口腔粘膜処置」の指針（案）の作成を行った。

3. 引継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

- 1) 2020年診療報酬改定に係る「非経口摂取患者口腔粘膜処置」の指針（案）に関しては、学術用語委員会・理事会の承認を得る。
- 2) 歯科医師と管理栄養士の協働に向けたシンポジウムの開催について協議を行う予定である。
- 3) 2020年診療報酬改定、2021介護報酬改定に向けて、準備をする。

以上

日本老年歯科医学会 社会保険委員会
2020 年度活動計画

2020/6/6

1. 委員会構成

委員長 菊谷 武 副委員長 糸田 昌隆
委員 秋野 憲一, 猪原 健, 恒石 美登里, 古屋 純一, 細野 純
石井 良昌 (新任), 阪口 英夫 (新任), 三木 次郎 (新任), 石黒 幸枝 (新任)
幹事 佐川 敬一郎

2. 2020-2021 年度の活動目標

- 1) 2020 年度診療報酬改定に関して、情報の整理を行う。
- 2) 2022 年度介護報酬改定に向けて、準備をする。
- 3) 関連学会(日本障害者歯科学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本老年学会、日本在宅医療連合学会など)との連携の強化
- 4) 関連団体(厚生労働省、日本歯科医師会、日本歯科医学会、日本栄養士会など職域代表など)との連携強化

3. 2020 年度の活動計画

- 1) 2020 年診療報酬改定に係る事後検証を行う。
- 2) 2022 年診療報酬改定にむけて、関係各委員会と連携しながら進めていく。

4. 2020 年度委員会開催予定 (Web 会議含む)

- 1) 第 1 回委員会：2020 年 7 月中の開催 19:00～20:00 予定 (Web 会議)
内容：①各委員顔合わせ、
②2020 年診療報酬改定に係る事後検証
③今後の委員会の方針について
- 2) 第 2 回委員会：2020 年 7 月中の開催 19:00～20:00 予定 (Web 会議)
内容：2022 年診療報酬改定に係る今後の委員会の方針について

5. その他

以上

日本老年歯科医学会 ガイドライン委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/6/5

1. 委員会開催実績

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

- 1) 日本口腔内科学会、日本老年歯科医学会、日本口腔ケア学会、日本歯科薬物療法学会と合同委員会において、「口腔乾燥症の分類、治療指針」(案)の策定を終えた。
- 2) 日本補綴歯科学会と本学会が合同で作成し、2011年6月に公開され、2013年6月に Minds に掲載された「摂食嚥下障害,構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドライン」につき、前期以降、日本補綴歯科学会ガイドライン委員会(藤澤政紀委員長)と合同で改訂を行い、改訂版の草案(「摂食嚥下障害,構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドライン 2020(案)」)を策定した。

3. 引継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

- 1) 「口腔乾燥症の分類、治療指針」(案)は、各学会の学術大会にて分類案の解説を行い、パブリックコメント募集に基づく修正を経て、公開の予定である。
- 1) 「摂食嚥下障害,構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドライン 2020(案)」は、今後、両学会において内部評価、パブリックコメント募集に基づく修正と、最終稿の外部評価を経て、公開の予定である。

以上

日本老年歯科医学会 ガイドライン委員会
2020年度活動計画

2020/6/7

1. 委員会構成

委員長 戸原玄 副委員長 古屋純一
委員 中島純子, 田村文誉, 堀一浩, 水谷慎介, 谷口佑介, 谷口裕重, 大橋伸英,
中川量晴, 原豪志 (幹事兼任)

2. 2020-2021年度の活動目標

1) 前委員会の引継ぎ事項を進める

① 日本口腔内科学会、日本歯科薬物療法学会、日本口腔ケア学会、本学会にて作成した「口腔乾燥症の分類、治療指針」(案)は、各学会の学術大会にて分類案の解説を行い、パブリックコメント募集に基づく修正を経て、公開の予定である。

② 「摂食嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドライン2020(案)」は、今後、本学会と補綴学会において内部評価、パブリックコメント募集に基づく修正と、最終稿の外部評価を経て、公開の予定である。

2) 新委員会で新たなガイドラインや指針の作成について検討を開始する。

3. 2020年度の活動計画

1) 第31回学術大会にて「口腔乾燥症の分類、治療指針」のシンポジウム(前委員会による報告)

2) 「口腔乾燥症の分類、治療指針」(案)はパブコメ募集を経て公開

3) 「摂食嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床(PAP)の診療ガイドライン2020(案)」は本学会と補綴学会でのパブコメ募集、外部評価を経て公開

4) 新たなガイドラインや指針の作成について検討を開始

4. 2020年度委員会開催予定(Web会議含む)

1) 第1回委員会: 2020年7~8月メール会議

内容: 主として引継ぎ事項の確認

2) 第2回委員会: 2020年11月(7日もしくは8日の会期中を予定)ウェブ会議予定

内容: 引継ぎ事項の進捗と新規検討事項案

5. その他

各種委員会との連携を図る

以上

日本老年歯科医学会 在宅歯科医療委員会
2018・2019年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/25

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

1) 2020年4月22日（水）メール会議

内容：摂食嚥下リハビリテーション委員会からの「新型コロナウイルス（COVID-19）感染症対策に関するアンケート調査」の内容確認依頼への対応

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 日本歯科医学会「在宅歯科医療に関する検討委員会」への協力の継続

2) 来年度学術大会に向けた企画の検討

3) 在宅歯科医療に関わる各所からの依頼に対応

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

1) 学術大会等を通じて、在宅歯科医療及びそれに関わる啓発活動の継続

2) 在宅歯科医療テキストの編纂

3) 在宅歯科医療に関わる研修会の開催

以上

日本老年歯科医学会 在宅歯科医療委員会
2020 年度活動計画

2020/6/3

1. 委員会構成

委員長 佐藤裕二 副委員長 小玉 剛
委員 猪原 光, 小原由紀, 金久弥生, 菊谷 武, 菅 武雄, 花形哲夫, 米山武義,
渡邊 裕, 渡部芳彦
幹事 古屋純一
オブザーバー 吉田光由(摂食嚥下リハビリテーション委員会委員長)
担当役員 水口俊介理事長

2. 2020-2021 年度の活動目標

本学会の 3 つの大きな柱: 口腔機能低下対応, 摂食嚥下リハ, 在宅歯科医療のうち,
在宅歯科医療の向上と普及を目標とし, startup 事業を行う

- 1) COVID-19 に対応した新しい在宅歯科医療の指針の策定
- 2) 在宅歯科医療の標準テキスト(専門医用)の作成
- 3) 在宅歯科医療専門医制度の立ち上げ
- 4) 関連団体との連携の強化

3. 2020 年度の活動計画

- 1) COVID-19 に対応した新しい在宅歯科医療の指針の確立(ガイドライン委員会と連携)
エキスパートパネルを選定し, デルファイ法を用いて, 新しい診療様式の確立を模索する
- 2) 在宅歯科医療の標準テキストの作成(教育委員会と連携)
教育委員会で作成された「教育基準 2020」のうちで, 在宅歯科医療に関する部分を基に,
標準テキスト作成のための目次立てとなる教育基準を作成する。
- 3) 在宅歯科医療専門医制度の立ち上げ(認定制度委員会と連携)
先行している「摂食機能療法専門歯科医」を参考に, 研修や認定の制度設計を検討する。
- 4) 関連団体との連携の強化
歯科医師会, 歯科医学会, 関連学会・団体, 厚労省などのリストを作成し, 窓口と方略を検討する。

4. 2020 年度委員会開催予定(Web 会議含む)

- 1) 第 1 回委員会: 2020 年 6 月下旬 WEB 開催準備中
内容: 委員会の活動目標と 2020 年度の具体的な活動計画に関して
- 2) 第 2 回委員会: 2020 年 7 月下旬 WEB 開催準備中
内容: 具体的な役割分担と進行スケジュールの打合せ
- 3) その他メール会議で対応する予定

5. その他: 検討されていた WS は, COVID-19 の影響で当面不可能なので, WEB 会議を充実させる。

以上

日本老年歯科医学会 摂食嚥下リハビリテーション委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/11

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

1) 第1回委員会：2020年2月6日～13日 メール会議

内容：摂食嚥下に関わる用語のリストアップについて

2) 第2回委員会：2020年3月27日～4月3日 メール会議

内容：学術大会延期の場合の摂食機能療法専門歯科医師審査ポスターと指定研修の開催について

3) 第3回委員会：2020年4月4日～11日 メール会議

内容：在宅医療における新型コロナウイルス感染症対策について

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

1) 2018 年度認定審査にて、18 名を新たに摂食機能療法専門歯科医師と認定した。

確認テストを実施し（2018.11.24）、採点結果より受験した 11 名全員を合格とした。

当該年度指定研修は 15 名が受講した。

2) 2019 年度認定審査にて、10 名を新たに摂食機能療法専門歯科医師と認定した。また 7 名の更新を認定した。確認テストを実施し（2019.11.17）、採点結果より 11 名のうち 8 名を合格とした。

当該年度指定研修は 19 名が受講した。

3) ICT を利用したオンライン診療への対応について

(1) オンライン診療の実態把握：本学会会員に協力いただき、オンライン診療の実施状況を把握することを目的としてアンケート調査を実施した。228 名の会員から回答があった。

(2) ICT を応用したオンライン診療データの蓄積：本委員会委員および幹事にて、モデルケースとして ICT を用いた摂食嚥下診療に関わるオンライン診療を実施し、各地域の課題・問題点を抽出した。(1)(2)ともに、委員長が研究代表者をつとめる厚生労働科学研究費地域医療基盤開発推進研究事業の報告書にて結果を公開する予定である。

4) 学術用語委員会と連携し、老年歯科医学用語辞典に掲載する摂食嚥下に関する用語抽出を行った。

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

1) 学術大会期間中における認定審査ポスターの運営、口頭試問結果から認定可否の判定

2) 指定研修の講師選択・構成の検討、確認テストのブラッシュアップ、テストの運営、採点と合否判定

以上

日本老年歯科医学会 摂食嚥下リハビリテーション委員会
2020年度活動計画

2020/6/4

1. 委員会構成

委員長 吉田光由 副委員長 野原幹司
委員 飯田貴俊、飯田良平、石田 瞭、大岡貴史、玉田泰嗣、田村文誉、中川量晴、藤井 航、
三串伸哉
幹事 高橋賢晃
オブザーバー 戸原玄

2. 2020-2021年度の活動目標

- ・摂食機能療法専門歯科医師の認定事業の継続をしていながら、摂食機能療法専門歯科医師の活動報告や活動実績の論文報告を支援していくことで、摂食機能療法専門歯科医師の他職種への認知度の向上を図る。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い注目が集まってきたオンライン診療に関して、摂食機能療法での導入、さらには介護保険でのミールラウンドへの導入を検討し、介護保険改正での提案を試みる。

3. 2020年度の活動計画

- 1) 第31回、第32回学術大会での摂食機能療法専門歯科医師の指定研修、確認テスト、認定プレゼンテーションの実施
- 2) 摂食機能療法専門歯科医師の活動報告や活動実績の論文報告を支援していくための方法を検討
- 3) ICTを利用した摂食機能療法やミールラウンドの活動内容報告例の作成

4. 2020年度委員会開催予定（Web会議含む）

- 1) 第1回委員会：2020年11月8日（日）17:00～18:00 予定
内容：確認テストの合否判定、認定プレゼンテーションの合否判定
- 2) 第2回委員会：第32回学術大会期間中を予定
内容：確認テストの合否判定、認定プレゼンテーションの合否判定
- 3) その他メール会議で対応する予定
確認テストのブラッシュアップ
摂食機能療法認定歯科医師の活動内容の集積
ICTを利用したオンライン診療の調査結果のまとめと活動報告例の作成

5. その他

診療報酬改定や介護保険改定に向けた社会保険委員会、老年歯科医学用語辞典改訂に向けた学術用語委員会、COVID-19に対応した新しい老年歯科医療の指針策定に向けた在宅歯科医療委員会やガイドライン委員会など各種委員会と積極的な連携を図る。

以上

日本老年歯科医学会 国際渉外委員会
2018・2019年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/15

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

1) メール会議：2020年1月15日～30日

内容：ECG2020年大会へのJSGからの講師派遣依頼について協議し、候補者を決定した。

2) メール会議：2020年2月9日

内容：第2回台日高齢者歯科サミットの延期の提案について協議し、理事会に上程した。

3) メール会議：2020年4月8日

内容：第31回学術大会における国際シンポジウムの中止について確認した。

4) メール会議：2020年5月11日

内容：ECG2020大会がオンライン開催になったことを報告した。

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

1) 台湾老年歯科医学会（TAGD）との交流促進

- ・学会間交流協定の調印に至るまでの交渉（2018-19年）
- ・第1回台日高齢者歯科サミット（2019年3月）の講師選定（学術委員会と共同）
- ・IAGG台北大会（2019年10月）におけるTAGG-JSG合同シンポジウムの講師選定（学術委員会と共同）
- ・第2回台日高齢者歯科サミット（2020年3月：延期）の講師選定（学術委員会と共同）

2) ヨーロッパ老年歯科医学会（ECG）との交流促進

- ・2019年度ECG大会（2019年5月、Amersfort）におけるJSGセッションの企画立案と講師選定（学術委員会と共同）
- ・2020年度ECG大会（2020年10月、Athens）におけるJSGからの派遣講師選定（白術委員会と共同）

3) 日本老年歯科医学会第31回学術大会（30周年記念大会）における国際シンポジウムの企画

4) 学会ニューズレターへの情報提供

- ・海外関連学会の参加報告
- ・Gerodontology誌への本学会開催日程の情報提供

3. 引き継ぎ事項

1) TAGD, ECG との交流事業のマネジメントを関連委員会と連携して行うこと。

2) アジアにおける国際的な老年歯科医学のプラットフォーム形成について検討すること。

以上

日本老年歯科医学会 国際渉外委員会
2020 年度活動計画

2020/6/3

1. 委員会構成

委員長 松尾 浩一郎 副委員長 金澤 学
委員 池邊一典 遠藤真美 小野高裕 多田紗弥夏 太田緑 (幹事兼任)
原田和昭 渡邊裕

2. 2020-2021 年度の活動目標

- 1) 台湾老年歯科医学会 (TAGD) との交流促進
- 2) ヨーロッパ老年歯科医学会 (ECG) との交流促進

3. 2020 年度の活動計画

- 1) 台湾老年歯科医学会 (TAGD) との交流促進

今後の台日高齢者歯科サミットでの交流企画の計画

- 2) ヨーロッパ老年歯科医学会 (ECG) との交流促進

2020 年度 ECG 大会 (2020 年 10 月、on-line 開催) への JSJG からの講師派遣
ECG 大会での交流企画の計画

4. 2020 年度委員会開催予定 (Web 会議含む)

今年度夏ごろと年明けに開催する予定

内容 : ECG, TAGD との共同企画に関する件 (Web もしくはメール会議予定)

5. その他

以上

日本老年歯科医学会 広報委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/12

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

- 1) 第3回委員会： 2019年12月16日（月）16：00～18：00：口腔保健協会3階会議室
内容：ニュースレター企画，ホームページ閲覧状況，SNSの活用について協議し，ガイドラインの紹介およびリンクへ誘導することとした。学会設立30周年記念大会および記念式典・記念祝賀会の企画について協議し，記念VTRと写真収集方法を決定し進めることとした。
- 2) 第4回委員会： 2020年3月2日（月）16：00～18：00：口腔保健協会3階会議室/Web会議
内容：ニュースレター企画，「老年歯科医学」別冊電子版への対応，記念大会におけるSNSの活用方法について協議し，継続して発信を進めていくこととした。
- 3) 第1回委員会： 2020年5月11日（月）16：00～18：00：Web会議
内容：ニュースレター企画および新企画のコンテンツ，SNSの活用について協議し，継続して発信を進めていくこととした。

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

- 1) ニュースレター VOL. 32,33,35,36,37,38,39 の発刊を行った。
- 2) ホームページの更新
- 3) SNS, 会員向けメールマガジンの発信
- 4) 学会設立30周年記念大会および記念式典・記念祝賀会の企画
- 5) 記念大会の記念VTRおよびスライドショーの作成

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

- 1) ニュースレターの新しいコンテンツの企画および発行（VOL.40号以降）
→新型コロナウイルスの影響で活動報告の素材が減少。代替の素材を継続して検討する。
- 2) ホームページの更新
→NL同様、活動報告の素材が減。新たなコンテンツの検討
- 3) SNS, 会員向けメールマガジン発信
→活動の減少に伴い、フォロー数を伸ばしているため、ニーズがあるのではと考える。コンテンツについては、今期で素材収集（ガイドライン等の解説）。順次、公開を進める。

以上

日本老年歯科医学会 広報委員会
2020 年度活動計画

2020/6/10

1. 委員会構成

委員長 河相安彦 副委員長 糸田昌隆
委員 小原由紀、飯田 崇、織田展輔、貴島真佐子、伊藤誠康（幹事兼任）
幹事 伊藤誠康

2. 2020-2021 年度の活動目標

- 1) 一般人向け広報の充実，社員広報（SNS メルマガなど）の充実。
- 2) ニュースレターの内容の随時更新および新しいコンテンツの企画。
- 3) ホームページの更新および新たなコンテンツの検討。
- 4) 学会設立 30 周年記念大会および記念式典・記念祝賀会の企画。

3. 2020 年度の活動計画

- 1) ニュースレター発刊（ニュースレター40号~43号の発行）
- 2) 学会ホームページの随時更新
- 3) 社員広報（SNS メルマガなど）の発信
- 4) 学会設立 30 周年記念大会および記念式典・記念祝賀会の企画

4. 2020 年度委員会開催予定（Web 会議含む）

- 1) 第 1 回委員会： 未定
内容：ニュースレター企画の件
- 2) 今年度夏ごろと年明けに開催する予定
内容：ホームページ企画の件
- 3) その他メール会議で対応する予定

5. その他

特になし

以上

日本老年歯科医学会 研修委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/1

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019 年 12 月～2020 年 5 月の間

- 1) 第 6 回委員会 2019 年 12 月 15 日（日）「ベルサール神保町アネックス」会議室
・ 2019 年度 第 2 回（通算第 8 回）研修会の開催内容について日時、内容の確認を行った。
・ 学会設立 30 周年記念大会のプログラム企画についてシンポジウムと教育講演の日程、内容、演者について確認を行った。

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

- 1) 2018 年度 第 1 回（通算第 5 回）高齢者医療研修会
日時：2018 年 12 月 16 日（日）「ベルサール神保町アネックス」参加者：約 130 名
- 2) 2018 年度 第 2 回（通算第 6 回）高齢者医療研修会
日時：2019 年 3 月 24 日（日）「TKP ガーデンシティ博多」参加者 95 名
- 3) 2019 年度 第 1 回（通算第 7 回）高齢者医療研修会
日時：2019 年 12 月 15 日（日）「ベルサール神保町アネックス」参加者 130 名
- 4) 2019 年度 第 2 回（通算第 8 回）高齢者医療研修会：中止
日時：2020 年 3 月 29 日（日）「大阪歯科大学 天満橋学舎 100 周年記念館大講義室」にて開催が確定していたが、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大を考慮して中止とした。

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

- 1) 2020 年度 第 1 回高齢者医療研修会の開催に関して、東京都内での場所および日時の検討。
また講演テーマの内容と演者の依頼、運営スタッフの検討。
- 2) 2020 年度 第 2 回高齢者医療研修会の開催に関して、西日本地区での場所および日時の検討。
講演テーマ及び内容、演者は第 1 回に準ずるが、運営スタッフに関しては改めて検討。
- 3) 中止とした 2019 年度 第 2 回高齢者医療研修会について再開するかなど、今後の取り扱いについて。
- 4) 延期となった学会設立 30 周年記念大会のシンポジウムと教育講演の日程調整。また内容や演者について同じ形で開催可能か否かの確認を行う。

以上

日本老年歯科医学会 研修委員会
2020 年度活動計画

2020/6/11

1. 委員会構成

委員長 竹島 浩 副委員長 岩佐康行
委員 田中 彰, 大神浩一郎, 潮田高志, 金久弥生, 久保田一政
副理事長 片倉 朗
幹事 田村暢章 (委員兼任)

2. 2020-2021 年度の活動目標

- ・高齢者医療臨床研修会の開催。
- ・学会設立 30 周年記念大会のシンポジウム、教育講演の開催。

3. 2020 年度の活動計画

1) 高齢者医療臨床研修会

➡2019 年度第 2 回高齢者医療臨床研修会 (2020 年 3 月 29 日 : 大阪歯科大学 天満橋学舎) の事案
新型コロナウイルス感染拡大考慮のため中止となったため、今後同じ演題・演者での再開催を行うか否
かの確認と今後の取り扱いについて。

➡2020 年度第 1 回高齢者医療臨床研修会の開催 (2019 年 11~12 月)

東日本 : 場所および日時の検討 (例年だと東京都内で開催)。

講演テーマ・内容・演者の依頼、運営スタッフの検討。

➡2020 年度第 2 回高齢者医療臨床研修会の開催 (2020 年 2~3 月)

西日本 : 場所および日時の検討 (例年だと大阪または福岡で開催)。

講演テーマ・内容・演者は第 1 回に準ずるが、運営スタッフに関しては改めて検討。

2) 学会設立 30 周年記念大会のシンポジウム、教育講演

➡学会開催日 (2020 年 6 月 20-21 日) が延期 (2020 年 11 月 7-8 日) となったため、企画予定して
いた内容・演者について同じ形で開催可能か否かの確認を行う (国際シンポジウムは中止)。

4. 2020 年度委員会開催予定 (Web 会議含む)

1) 第 1 回委員会 : 2020 年 7 月頃を予定。

2) 第 2 回委員会以降 : メール会議等により開催する予定。

➡高齢者医療臨床研修会・学会設立 30 周年記念大会のシンポジウム、教育講演の件。

5. その他

特記事項なし

日本老年歯科医学会 学術用語委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/11

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

1) 第2回委員会：2020年1月29日（水）18:00～20:00：AP品川 N会議室

内容：①第31回学術大会におけるシンポジウム企画についての講演内容，②「老年歯科医学用語辞典」第2版に掲載されていない用語（追加用語）で，摂食機能療法専門歯科医師取得に関連する用語および4月の保険改訂に掲載される用語検討，③「老年歯科医学用語辞典」第3版の出版に関するスケジュール，④「教育基準」改正案について協議した。①については，看護師や言語聴覚士の教育課程などを含めた講演内容を依頼する，②については，保険改訂後4月以降で再検討する，③については，出版積立金および委員会任期を考慮し「老年歯科医学用語辞典」第3版は2023年3月発刊予定とする，④については，大幅な修正は不可能なため追加削除などを学術用語委員会として，意見を求めることとした。また，英訳も実施する方向性を決めた。

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 「日本歯科医学会学術用語集」第2版への編集協力

グラ校正の依頼を受けて確認作業を行った。

2) 学術用語委員会主催シンポジウムの開催

第30回学術大会にてシンポジウム開催，第31回学術大会のシンポジウム企画を行った。

3) 「老年歯科医学用語辞典」第2版に掲載されていない用語（追加用語）の選定・解説

老年歯科医学 33 巻 2 号より「鼻咽腔閉鎖機能」，「直接訓練」，「間接訓練」，「5 期モデル」，「プロセスモデル」，「介護認定審査会」，「高次機能障害」，「障害高齢者の日常生活自立度」，「認知症高齢者の日常生活自立度」，「難聴」，「Hoehn&Yahr の重症度分類」について掲載を行った。

4) 「いわゆる痂皮様の口腔剥離上皮を含む膜状の付着物」の学術用語検討

学術的にはまだ確定していない用語であり，検討中としてコメントし web へ掲載した。

5) 「教育基準案」英語版の検討

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

1) 老年歯科医学学術用語辞典（第3版）の準備

2) 老年歯科医学分野の新出用語の選定および解説の検討

3) 学術用語委員会主催シンポジウムの開催

4) 「いわゆる痂皮様の口腔剥離上皮を含む膜状の付着物」の学術用語検討

5) 「教育基準」英語版の作成

以上

日本老年歯科医学会 学術用語委員会
2020 年度活動計画

2020/6/1

1. 委員会構成

委員長 大神浩一郎 副委員長 三浦宏子
委員 大渡凡人, 小野高裕, 阪口英夫, 弘中祥司, 山内智博, 吉成伸夫,
大久保真衣 (幹事兼任)

2. 2020-2021 年度の活動目標

2023 年 3 月発刊に向け老年歯科医学学術用語辞典 (第 3 版) に収載する用語選定として, 歯科医師国家試験出題基準, 歯学教育モデル・コア・カリキュラム, 保険収載用語を含めて幅広く検討し, 選定された用語を随時学会誌へ掲載を行う。また学術用語委員会主催シンポジウムを企画し, 開催する。

3. 2020 年度の活動計画

- 1) 新出用語の選定・解説を含めて, 老年歯科医学学術用語辞典 (第 3 版) の準備
- 2) 「いわゆる痂皮様の口腔剥離上皮を含む膜状の付着物」の学術用語検討
- 3) 「教育基準」英訳版の作成
- 4) 学術用語委員会主催シンポジウムの開催

4. 2020 年度委員会開催予定

- 1) 第 1 回委員会は今夏頃に開催する予定
内容: 活動計画の具体化を検討する予定
- 2) 第 2 回委員会は年明けに開催する予定
- 3) その他はメール会議で対応を予定

5. その他

なし

以上

日本老年歯科医学会 歯科衛生士関連委員会
2018・2019年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/2

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間
なし

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 歯科衛生士関連委員会主催セミナーの企画運営

①2018年度（第5回）

日時：2018年6月24日（日）9：00～12：00、13：00～15：45 於：AP品川

テーマ：「歯科衛生研究の基礎」、「医療統計の基礎」

②2019年度（第6回）

日時：2019年7月15日（月・祝）13:00～16:00 於：フクラシア品川

テーマ：『口腔機能評価の実践』（実習コース）

③ 2020年度（第7回）企画段階

日時：11月28日（土）13:00～17:00 関東地域にて開催予定

テーマ：有病者に安全な口腔健康管理を提供するための知識と対応

2) 学術大会における委員会企画に関する運営

① 歯科衛生士シンポジウム

② 歯科衛生士交流会

③ 歯科衛生士相談コーナー

3) 学術大会 優秀ポスター賞（歯科衛生士部門）の一次審査の実施

4) 認定歯科衛生士専門審査の実施と日本歯科衛生士会への推薦

5) 第24回日本歯科医学会学術大会 公募プログラムへの応募

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

1) 学術大会における歯科衛生士シンポジウムおよび本委員会主催セミナーの企画運営の継続

2) 日本歯科衛生士会への認定更新生涯研修の申請

3) 日本歯科衛生士会の認定歯科衛生士委員会への委員派遣の継続

4) 第24回日本歯科医学会学術大会 公募プログラムが採択された場合の対応

以上

日本老年歯科医学会 歯科衛生士関連委員会
2020 年度活動計画

2020/6/8

1. 委員会構成

委員長 石黒 幸枝 副委員長 菅野 亜紀
委員 伊藤 加代子、阪口 英夫、須田 牧夫
 草間 里織、高柳 久与、藤原 千尋、藤原 ゆみ、森下 志穂
幹事 小原 由紀（委員併任）

2. 2020-2021 年度の活動目標

歯科衛生士の老年歯科医療における資質向上に向け、主催セミナーの企画運営・認定歯科衛生士審査制度の適正な運用を行う。

3. 2020 年度の活動計画

1) 歯科衛生士の継続学習に向けた取り組み

学術大会における歯科衛生士シンポジウムおよび本委員会主催セミナーの企画運営を行う。

2) 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士の審査の実施および日本歯科衛生士会への委員派遣

学術大会における相談コーナーを設置や交流会の開催など、認定歯科衛生士制度の普及啓発に努める。

3) 日本歯科衛生士会への認定更新生涯研修申請の推進

4) 歯科衛生士に関する教育基準について教育委員会に協力

5) 第 24 回日本歯科医学会学術大会 公募プログラムが採択された場合の対応

4. 2020 年度委員会開催予定（Web 会議含む）

1) 第 1 回委員会：2020 年 7 月中旬頃 Web 会議を予定

内容：本委員会の活動計画、学術大会会期中のプログラムの企画運営、認定審査、主催セミナーの開催について

2) 第 2 回委員会：2020 年 10 月頃 Web 会議を予定

内容：学術大会会期中のプログラムの企画運営、主催セミナーの開催について

3) その他メール会議で対応する予定

5. その他

以上

日本老年歯科医学会 認定制度・認定資格・研修期間委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/13

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019 年 12 月～2020 年 5 月の間

1) 第 4 回委員会：2020 年 3 月 11 日（水）～4 月 7 日 メール会議

内容：認定医申請審査を 2020 年 3 月 13 日に AP 品川にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でメール会議として審査を実施することになった。審査結果としては、51 名の申請件数があり、48 名を承認とした。

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 認定医/認定医制度指導医，専門医/専門医制度指導医，認定医/専門医研修機関の審査

(a) 2018 年度：

新規認定：認定医 41 名、専門医 9 名、認定医制度指導医 1 名、研修機関 6 件

更新認定：認定医/認定医制度指導医 24 名、専門医/専門医制度指導医 37 名、研修機関 9 件
以上を承認し、理事会に上程した。

(b) 2019 年度：認定医 41 名、専門医 23 名、指導医 7 名、研修機関新規 2 件、認定医更新 22 名、専門医更新 5 名、指導医更新 3 名、研修機関更新 3 件
以上を承認し、理事会に上程した。

2) 認定制度規則・細則の改正

改正し、2019 年 6 月の理事会で承認を得て、施行された。

3) 認定医審査ケースレポートひな型、認定医審査ポスター作成要領作成

編集委員会と協力して作成し、第 31 回学術大会より運用開始した。

4) 症例報告患者同意書参考用書類のホームページへのアップロード

作成し、認定医関連のホームページへアップロード済み。

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

1) eAPRIN での医療倫理と医療安全の e-learning 受講可能な体制の整備

専門医新規申請要件のひとつである、医療倫理、医療安全に係る研修受講機会の提供目的。

2) 救命救急の講義要件の規定確認

講義のみの受講でよいか、実習が必要かなど、内容の明確化が必要。

以上

日本老年歯科医学会 認定制度委員会
2020 年度活動計画

2020/6/5

1. 委員会構成

委員長 柏崎晴彦 副委員長 藤井 航
委員 井関史子, 梅本丈二, 大野友久, 岡田和隆, 河相安彦 (広報), 高橋一也 (問題),
竹内一夫, 竹島 浩 (研修), 縄稚 久美子, 元橋靖友
幹事 山添淳一

2. 2020-2021 年度の活動目標

- 1) 各種認定資格の新規・更新申請について、受付・審査・認定の実施
- 2) 認定制度委員会指定研修該当プログラムの指定
- 3) 会議方式ではない審査システムの構築
- 5) 認定制度に関する学会内外への啓発
- 6) 研修機関の増加・充実

3. 2020 年度の活動計画

- 1) 認定医, 専門医, 指導医, 研修機関の審査
- 2) 専門医更新単位取得のための学会主催のセミナーを増やすための取り組み
- 3) 専門医申請要件の検討: 論文数, 研修施設や期間, 試験の出題基準, eAPRIN での医療倫理と医療安全の e-learning 受講可能な体制の整備, 救命救急の講義要件の規定確認等
- 5) 認定制度に関するニュースレターなどを通じた周知

4. 2020 年度委員会開催予定 (Web 会議含む)

- 1) 第 1 回委員会: 10 月上旬
内容: 専門医新規申請書類審査等
- 2) 第 2 回委員会: 11 月 7 日 (土) 8 日 (日) 東京医科歯科大学
内容: 令和 2 年度認定医および専門医の認定審査
- 3) 第 3 回委員会: 3 月中旬
内容: 認定医新規申請書類審査等

5. その他 特になし

以上

日本老年歯科医学会 認定試験実施委員会
2018・2019年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/1

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

なし

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 平成30年度 日本老年歯科医学会専門医試験の実施運営

日時：2018年11月24日（土）13:30～15:00

会場：大阪歯科大学附属病院 西館5階 ゼミ2

受験者：10名

2) 令和元年度 日本老年歯科医学会認定医試験の実施運営

日時：2019年6月6日（木）13:30～16:30 受験者数：43名

会場：仙台国際センター 第4会場「桜」（認定医ポスター会場・認定医筆記試験会場）

3) 令和元年度 日本老年歯科医学会専門医試験の実施運営

日時：2019年11月17日（日）13:30～15:00

会場：日本歯科大学生命歯学部 7階 131講堂

受験者：25名

3. 引き継ぎ事項

特になし

以上

日本老年歯科医学会 専門医試験問題作成委員会
2018・2019年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/15

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間
なし

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

- 1) 専門医試験の問題作成依頼に向けて作問基準について協議し、従来通り「より高度な臨床知識を問う専門医の試験として行う」こととした。出題図書については、ホームページの概要どおりに「老年医学系統講義テキスト」（西村書店）を追加掲載することとした。
- 2) 専門医基準図書の見直しについて協議し、現行アップデートされている書籍を修正し、現行で10年以上経っている書籍については入れ替えすることにした。①口腔の緩和医療・緩和ケア（永末書店）②よくわかる高齢者歯科学（永末書店）③かかりつけ歯科医のための口腔機能低下症入門（デンタルダイヤモンド社）の3冊を新しく加えることとした。
- 3) 2018年度専門医試験問題作成
前委員会にてブラッシュアップされた専門医試験問題の選定を行い、A・B 2種類の問題（各50問）を作成、理事長指示によってA案採用した。
- 4) 2018年度指導医筆記試験問題作成
指導医の筆記試験となる課題作文のテーマについて作成を行った。
- 5) 2019年度専門医試験問題作成
委員会にてブラッシュアップされた専門医試験問題の選定を行い、A・B 2種類の問題（各50問）を作成、理事長指示によってB案採用した。
- 6) 2019年度指導医筆記試験問題作成
指導医の筆記試験となる課題作文のテーマについて作成を行った。
- 7) 2020年度専門医試験問題作成依頼
2020年実施予定の専門医試験の問題作成依頼を代議員、専門医に行った。

3. 引き継ぎ事項

- 1) 過去にブラッシュアップされた未使用問題の整理と使用問題の正答率を分析し、再使用の検討を行う。
- 2) 専門医試験の採点を、現行は手作業で行っており、採点作業やその精度に問題が発生する可能性があるため、マークシートをSCANする方法を検討したい。SCAN機器とソフトの購入に初期投資で10万円位が必要である。

以上

日本老年歯科医学会 専門医試験問題作成委員会
2020 年度活動計画

2020/6/12

1. 委員会構成

委員長 高橋一也 副委員長 飯田良平
委員 柏崎晴彦(制度)、小松知子、杉原直樹、野原幹司、原 哲也、久野彰子、
山本龍生、横山祐子、渡邊 裕
幹事 川本章代

2. 2020-2021 年度の活動目標

作問基準・出題図書・基準参考書の再検討し、良質な専門医試験問題の作成を行う。

3. 2020 年度の活動計画

1) 2020 年度専門医試験問題作成

依頼して集まった問題のブラッシュアップを各専門分野に分けて行い、試験問題を抽出、作成する。

2) 過去にブラッシュアップ済の未使用の問題および既出問題の整理を行い、再使用について検討する。

3) 専門医試験の採点においてマークシートを SCAN する方法の導入を検討する。

4. 2020 年度委員会開催予定 (Web 会議含む)

1) 第 1 回委員会：2020 年 7 月予定 (メール会議)

内容：2020 年 11 月実施予定の専門医試験問題のブラッシュアップの件

2) その他メール会議 (時期未定) で対応する予定

内容：出題図書・基準参考書の再検討および過去にブラッシュアップ済の未使用の問題および既出問題の整理を行い、再使用についての検討

5. その他

以上

日本老年歯科医学会 多職種連携委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/15

1. 委員会開催実績（メール会議を含む）

1) 活動内容が複数に分かれていたため、関係する委員と個別にメールで打合せを行った。

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

- 1) 多職種連携のための入門研修： 企画（案）を作成して研修委員会に諮った。結果、研修委員会において第7回高齢者医療臨床研修会（2019年度）として開催された。
- 2) 多職種連携のための俗語・略語辞典： 出典許可を得る負担を考慮して、日本老年医学会ホームページに公開されている「日本老年医学会用語集 2001」、および、本学会が出版した「老年歯科医学用語辞典 第2版」より略語を抽出、整理したうえで学術用語委員会に諮っている。
- 3) 会員アンケートの結果報告： 2018年に行った「地域包括ケアシステムのフォローアップならびに情報共有化に向けた取り組み」に関する調査報告書（案）を作成した。
- 4) 地域包括ケアシステム構築に向けた会員の取り組みの整理： 第25回大会（2014年）、および第27回（2016年）から第30回大会（2019年）までの合計5回における演題の中から、会員が多職種連携を進めるうえでの参考となるものを抽出、整理を行った。

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

- 1) 会員アンケートの結果報告： 編集委員会に諮り、学会誌に掲載できるよう進める。また、編集が進んだ段階で、学会ホームページ上でも公開できるように関係委員会に諮る。
- 2) 地域包括ケアシステム構築に向けた会員の取り組みの整理： 11月に開催予定の学術大会にあわせて、学会ホームページ上に公開できるよう進める。会員の取り組みの収集は今後も継続して行い、より利用しやすい形となるように内容の見直しを含めて検討する。

以上

日本老年歯科医学会 多職種連携委員会
2020 年度活動計画

2020/6/11

1. 委員会構成

委員長 岩佐康行 副委員長 渡部芳彦
委員 有松ひとみ, 金子信子, 柴崎美紀, 本川佳子, 若杉葉子 (幹事兼務)

2. 2020-2021 年度の活動目標

本委員会は、2025 年を目途に構築が進められている地域包括ケアシステムにおいて、歯科医療者が多職種連携のもとで活躍できるように、これを支援することを活動目的とする。2018 年 5 月に本学会員を対象に行ったアンケートでは、歯科医療従事者および他職種への情報提供、他職種への理解を深めるためのツール作成や行政等を巻き込んだシステムの構築、そして卒前および卒後教育等を充実させる教育研修などが課題として挙げられた。本委員会は他の委員会と連携して、これらの課題についての対応を進める。

3. 2020 年度の活動計画

1) 地域包括ケアシステム構築に向けた会員の取り組みの整理

これまでに整理したものを、11 月に開催予定の第 31 回学術大会にあわせて学会ホームページ上に公開できるよう進める。また、会員の取り組みの収集と整理については今後も継続して行う。

2) 「多職種連携のための略語・業界用語一覧」(老年歯科医学 別冊電子ジャーナルに掲載予定)について、今後さらに内容を充実させるための検討を行う。

3) 地域包括ケアシステム構築に向けた、他の医療・介護職の取り組みについて情報収集を行う。集まった情報のなかから、歯科医療職が連携可能な内容を抽出し、対応策を検討する。

4. 2020 年度委員会開催予定 (Web 会議含む)

1) 第 1 回委員会：2020 年 7 月下旬に開催予定 (Web 会議)

内容：本委員会の主旨・活動計画の説明 個別の取り組みに対する意見収集

2) 第 2 回委員会：2020 年 10 月中旬までに開催予定 (通常の会議, またはメール会議)

内容：地域包括ケアシステム構築に向けた会員の取り組みの整理について

5. その他 特になし

以上

日本老年歯科医学会 支部・地域保健医療福祉委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/1

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間
なし

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 支部長会の開催

① 2018 年度

日時：2018年6月23日（土）12:00～13:00 於：きゅりあん

内容：主催シンポジウムのアフターミーティング、支部活動報告、新支部長紹介

② 2019 年度

日時：2019年6月8日（土）12:00～13:00 於：仙台国際センター

内容：主催シンポジウムのアフターミーティング、支部活動報告

③ 2020 年度

11月の学術大会開催時に開催予定

2) 学術大会での委員会主催シンポジウムの企画運営

① 2018 年度

テーマ：地域歯科医療に貢献できる学会のアクションを考える

② 2019 年度

テーマ：歯科医師認知症対応力向上研修をどう活かすか

③ 2020 年度

テーマ：歯科口腔保健事業における「保健事業と介護予防の一体的な実施」を考える

3) 支部セミナーの開催の積極的支援

（主催セミナー9回、共催セミナー3回、後援セミナー3回）

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

- 1) 支部セミナー開催に向けた働きかけを継続する。
- 2) 支部長不在支部(山形支部)の解消に向けて、適任者への働きかけを進める。
- 3) 今後も定期的な支部長会議開催に向け、準備を進める。
- 4) 本委員会の活動が、会員数増加につながる活動となるよう、随時検討する。

以上

日本老年歯科医学会 支部・地域保健医療福祉委員会
2020年度活動計画

2020/6/3

1. 委員会構成

委員長 平野 浩彦 副委員長 糸田 昌隆
委員 梅本 丈二、枝広 あや子、木村 年秀、佐々木 健、佐藤 保、高田 靖
高橋 一也、畠山 桂郎、森田 薫、森田 一彦、山崎 裕
幹事 小原 由紀

2. 2020-2021年度の活動目標

各活動を通して、支部組織の運営を支援することにより、地域における高齢者歯科医療サービスの普及・啓発に努めるとともに、支部組織間における連携強化を図る。

3. 2020年度の活動計画

1) 支部長不在支部の解消とブロック制の検討により支部組織の活動の活性化を図る。

支部長不在支部：山形（2020年6月現在）

2) 支部セミナー開催時の積極的な支援を行う。

COVID-19の影響も考慮し、オンライン開催など支部セミナーの進め方を提案する。

3) 支部長会の開催と学術大会における委員会主催シンポジウムの企画運営を行う。

第31回学術大会開催時に支部長会およびシンポジウムを開催予定。

支部長間の円滑な交流と情報交換の場となるように運営する。

4. 2020年度委員会開催予定（Web会議含む）

1) 第1回委員会： 2020年7月上旬 Web会議の予定

内容：委員会の活動目標、支部長会の企画について

2) 第2回委員会： 2020年10月下旬 Web会議の予定

内容：支部長会とシンポジウムの運営について

3) その他メール会議で対応する予定

5. その他

以上

日本老年歯科医学会 学会間連携委員会
2018・2019年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/15

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間
期間中開催実績なし

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 「抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン」WG（日本有病者歯科学会）

岩渕 博史 先生に交代

2) 「歯科診療における静脈内鎮静法ガイドライン」WG（日本歯科麻酔学会）

深山 治久 先生に交代 2019年12月3日終了

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

1) 理事長諮問により活動を拡大する。

2) 日本障害者歯科学会とジョイントのシンポジウムを近くの大会中に開催

3) 新型コロナウイルス感染症対策については、多方面の学会との連携を必要とする。

以上

日本老年歯科医学会 学会間連携委員会
2020 年度活動計画

2020/6/15

1. 委員会構成

委員長 弘中 祥司 副委員長 岩淵 博史
委員 河相 安彦, 永田 千里, 中村 全宏, 細谷 哲康
幹事 石川 健太郎

2. 2020-2021 年度の活動目標

「新しい生活様式」に準拠した他学会との連携について模索する。

3. 2020 年度の活動計画

- 1) 「抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン」WG の継続
- 2) 「骨代謝に影響を与える薬剤を服用している患者の歯科治療」について、関連学会との意見交換を実施
- 3) 脳性麻痺、各種症候群など先天性疾患患者の高齢化への対応について、日本障害者歯科学会との WG を設立する。

4. 2020 年度委員会開催予定 (Web 会議含む)

- 1) 第 1 回委員会：メールにて 2020 年 8 月頃予定
内容：本年度活動の件
- 2) 第 2 回委員会：2020 年 11 月 7 または 8 日 第 31 回学術大会に合わせて実施
内容：日本障害者歯科学会との WG 設立の件
- 3) その他、昨今の状況を鑑み、メール会議で対応する予定

5. その他

以上

日本老年歯科医学会 表彰委員会
2018・2019年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/11

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

- 1) 第1回委員会： 2020年3月18日（水）メール会議
優秀奨励論文賞（ライオンアワード）の進行報告と老年歯科医学賞（渡邊郁馬賞）の選考に係る協議
- 2) 第2回委員会： 2020年4月6日（月）メール会議
優秀課題口演賞と優秀ポスター賞の一次審査結果について
- 3) 第3回委員会： 2020年4月16日（水）メール会議
老年歯科医学賞（渡邊郁馬賞）の選考結果について
- 4) 第4回委員会： 2020年4月22日（水）メール会議
優秀奨励論文賞の評価結果と選出

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

- 1) 優秀奨励論文賞（ライオンアワード）の応募対象を本会機関誌に掲載された学術論文から学術論文・原著、臨床論文、症例報告にし、公募についても自薦、他薦、委員会推薦と変更した。
- 2) 老年歯科医学会学術大会における優秀奨励論文賞と老年歯科医学賞の選考準備
- 3) 老年歯科医学会学術大会の優秀課題口演賞コンペティション・優秀ポスター賞コンペティションの準備と実施
- 4) 学会創立30周年記念学術大会に表彰委員会企画としてシンポジウムを企画した
本会表彰制度における受賞者のうち、特に評価が高い業績や活動について学術大会の企画として取り上げる試みを企画している。

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

- 1) 選考方法を見直した表彰制度の効率的な運用を目指していく
- 2) 幅広い会員の励みになる表彰制度を継続的に検討していく

以上

日本老年歯科医学会 表彰委員会
2020 年度活動計画

2020/6/9

1. 委員会構成

委員長 米山武義 副委員長 田中彰
委員 足立 融、桑澤 美希、佐藤由紀子、寺中 智、吉川 峰加
幹事 森田一彦

2. 2020-2021 年度の活動目標

- 1) 選考方法の見直しを含め、表彰制度の効率的な運用を目指していく
- 2) 幅広い会員の励みになるような表彰制度を継続的に検討していく

3. 2020 年度の活動計画

- 1) 学会功労賞、老年歯科医学賞、優秀奨励論文賞、優秀課題口演賞、優秀ポスター賞の選考に係る下準備をする。
- 2) 表彰制度の効率的な運用を検討
- 3) 会員にとって魅力的な表彰制度になるよう、学術委員会、編集委員会と連携をとる。

4. 2020 年度委員会開催予定 (Web 会議含む)

- 1) 第 1 回委員会： 2020 年 7 月 メール会議予定

内容： 老年歯科医学会学術大会の優秀課題口演賞コンペティション・優秀ポスター賞コンペティションの準備と役割分担の打ち合わせ

- 2) 第 2 回委員会： 2020 年 11 月 7 日 14:00～ (予定)

内容： 1) 優秀課題口演賞コンペティション・優秀ポスター賞コンペティションの審査点数の集計と表彰の準備

- 2) 祝賀会における表彰式の打ち合わせ。
- 3) 大会 2 日目表彰委員会ミニシンポジウムの打ち合わせ
- 4) 閉会式時の表彰式の打ち合わせ

- 3) 第 3 回委員会： 2021 年 3 月頃

内容： 老年歯科医学会賞・優秀奨励論文賞について
優秀課題口演賞コンペティション・優秀ポスター賞コンペティションについて

5. その他 なし

日本老年歯科医学会 規程委員会
2018・2019 年度活動報告・引き継ぎ事項

作成日 2020.5.1

1. 2019 年度委員会開催実績（メール会議を含む）＊2019 年 12 月～2020 年 5 月の間
第 10 回規程委員会 2020 年 4 月 27 日発信 メール会議

【趣旨】

財務委員会にて下記内容で、講演謝礼等に関する規定の改変を発案

【協議結果】

改廃の趣旨は了解いたしました。改変には問題ないと思われませんが、条文番号の不備と下記意見がありましたので付記します。

① 第 3 条

3) 外国人演者の諸費用については、前条 4) に準ずる。

これは前条の 5) ではないのか？ 学術大会とそれ以外の研修会で、差をつけるのであれば、問題ありません。

②第 3 条が 2 つあるため、下記のように条文番号を訂正する方が良いと思います。

第 4 条 学会機関誌発行に関わる諸費用の支出は以下の如く定める。

第 5 条 この規則について疑義が生じた場合又は実情に添わない場合は・・・

第 6 条 この規則を改廃する場合は、財務委員会の発議により、・・・

③ 第 3 条 (2) 資料代 20,000 円は統一性がなく混乱しやすいのではないかという意見が出た。

2. 2018・2019 年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 発議された改定事項の迅速な協議の実施のため、以下の会議を実施した。

第 1 回委員会：平成 30 年 7 月 14 日発信メール会議

協議事項：常任理事会への報告事項についての協議、今後の活動方針について協議

2) 第 2 回委員会：平成 30 年 7 月 26 日発信 メール会議

協議事項：下記 2 点の協議

1) 第 1 回委員会：平成 30 年 7 月 14 日発信メール会議

協議事項：常任理事会への報告事項についての協議、今後の活動方針について協議

協議結果：10 月にメール会議ではなく、実際に集まる委員会を開催することを決めた。

規程集とチェック項目について記載された資料を各委員に事務局より配布してもらった。

2) 第2回委員会：平成30年7月26日発信 メール会議

協議事項：下記2点の協議

1. 認定委員会より提出された「認定医および専門医の新規申請に関わる症例報告対象症例について－細則の改正－」についての協議
2. 表彰委員会より提出された「表彰制度規則第4条の変更」および「優秀口演賞選考申し合わせ（一部改正について）」についての協議

3) 第3回委員会：平成30年9月10日発信 メール会議

協議内容：老年歯科医学研究助成制度規則の一部改正について

4) 第4回委員会 平成30年10月8日 13時～ 八重洲倶楽部 会議室にて

協議内容：以下4点について協議

1. 規定委員会による確認方法および内容の検討
2. 既存 規程集の確認、重要事項について各委員からの意見聴取、配布規程集の確認
3. 今後の予定
4. 佐藤理事長からの提案事項

5) 第5回委員会 2018年11月5日発信 メール会議

協議内容：以下1点について協議

第4回会議にて検討した規程委員会チェック項目の書式再検討

協議依頼書の書式検討

6) 第6回委員会 平成30年11月22日発信 メール会議

協議内容：以下3点の協議

1. 老年歯科医学会の各種委員会名の変更について協議
2. 名誉会員の推薦規定変更について協議
3. 規程審議依頼書の書式検討

7) 第7回委員会 平成30年11月28日発信 メール会議

協議内容：特任委員会（代議員選出検討）より、代議員選出規定改正協議依頼

8) 第8回委員会 平成30年12月14日発信 メール会議

協議内容：以下

1. 理事会報告
2. 新規に作成した協議依頼書について、理事会での承認を得られたので、次回の依頼から使用することとした。
3. 理事会にて認定医・専門医制度の大幅改正が提案されたのに伴い、認定医・専門医制度に関わる規程、細則等の大幅改正がある。大幅な改正なので専任を指名したい。そこで、遠藤幹事と、栗屋委員に認定医制度規則・細則等の改変をおこなう作業の選任委員を指名するの
で協議してほしい。
4. 歯科衛生士関連委員会からの発議
5. 歯科衛生士関連委員会から 認定歯科衛生士専門審査制度規則施行細則の改正が提出され協

議依頼が出された。

- 9) 専任委員会議 平成 31 年 2 月 22 日 発信 メール会議 (委員長、遠藤幹事、粟屋委員)
認定制度委員会より提出された、制度改正の素案を委員長、選任委員 2 名で検討し、整合性や文章の誤り等のチェックをおこなった。
専任委員会議では、提出された改訂条文について協議をおこない、文章の整合性等の指摘をおこなった。
- 10) 第 9 回委員会 平成 31 年 4 月 14 日(日)発信 メール会議
協議内容：表彰委員会より発議の優秀課題口演賞選考細則改廃に関する協議
- 11) 第 10 回委員会 令和 2 年 4 月 27 日発信 メール会議
協議事項：財務委員会より講演謝礼等規程の変更

3. 活動内容と結果または進捗状況

- 1) 規程の変更を行う場合の申請書類について、様式を整備し、理事会協議を経て決定した。
- 2) 発議された改定事項の迅速な協議の実施し、滞りなく報告ができた。
- 3) 認定医・専門医制度規程や運用規則などの大規模改変があり、専任の委員を任命し、時間をかけて制度内容や条文の整合性、文言の整備等を行った。かなり大規模な作業であったが、専任を設けたおかげで、滞りなくおこなうことができた

4. 引継ぎ事項

- 1) 本委員会では発議された改定事項の迅速な協議の実施をお願いいたします。
本委員会で協議する基準については、別紙「規程・規則等の作成および改廃に関するチェック項目」を参考に協議すること
- 2) 規程改変にともなう協議の依頼は、別紙にしめす協議依頼書を使用するように、他の委員会に周知し、返信も協議依頼書の書式に従っておこなうようにしてください。これにより円滑な協議ができるようになると思います。

添付別紙 ・ 規程改廃協議依頼

・ 規程・規則等の作成および改廃に関するチェック項目 規程委員会協議事項

以上

一般社団法人 日本老年歯科医学会 規程委員会
 規程・規則 等の作成および改廃に関するチェック項目

2018.10.8

- 1 作成，改廃の趣旨が明確であるか
- 2 規程（規則）の名称が正しいか
- 2 上位規程との整合性が合っているか
- 3 定款または公用文の表記に準じているか（平仮名と漢字／送り仮名／句読点 等）
- 4 条項号を正しく設けているか
- 5 条項号の通し番号が整っているか（その他、通し番号にずれがないか）
- 6 号は、体言止めになっているか（句点不要 例：～者、～事項、～こと、～とき）
- 7 条項の文章末は統一されて止められているか（例：～する。～できる。～ならない。）
- 8 改廃条項が正しいか（※下記参照）
- 9 誤字脱字はないか
 （例：「○および ×及び」、「○行う ×おこなう」、「○本会 ×本学会」、
 数字の全角半角、「機関」と「期間」、「規程」と「規定」 等 ）
- 10 曖昧な表現はないか
- 11 設立および改廃の趣旨が条文に正しく反映されているか（項を上げる）

※改廃条項（準拠規則を示すと親切）

規程・規則

「この〇〇を改廃する場合は、〇〇の発議により、規程委員会で協議のうえ、常任理事会の議を経て、理事会の承認を得なければならない。」

細則

「この細則を改廃する場合は、〇〇の発議により、規程委員会で協議のうえ、常任理事会の承認を得て、理事会に報告しなければならない。」

申し合わせ

「この申し合わせを改廃する場合は、〇〇の発議により理事長の承認を経て、常任理事会および理事会に報告しなければならない。」

規程・規則等 名称一覧

2016.2.5

理事長発議・社員総会承認

理事長発議・常任理事会議・理事会承認・社員総会報告

定款

定款細則

担当理事および担当委員会 発議
 常任理事会 議・理事会 承認

規程
 組織の体系を定めたもの
 * 体系のルール

担当理事及び担当委員会 発議
 常任理事会 承認・理事会 報告

担当理事及び担当委員会 発議
 理事長 承認
 常任理事会及び理事会 報告

細則

申し合わせ

規則
 定款等で定められた事項に基づき、制度や業務の運営およびその取り扱いについて定めたもの
 ※会員が守るもの

※定款または定款細則に近い扱い
 綱領
 規範

※細則に近い扱い
 指針

↑ ↑ ↑ 規程委員会 協議 ↑ ↑ ↑

【補足】

新規に制定した規程・規則・細則は、直近で開催される社員総会の報告事項とし、その内容を資料とする。

日本老年歯科医学会 規程委員会
2020年度活動計画

2020/6/4

1. 委員会構成

委員長 阪口英夫 副委員長 中村弘之
委員 上田貴之, 粟屋剛, 鈴木史彦
幹事 遠藤真美

2. 2020-2021年度の活動目標

- ・各委員会から提出された規程の改変協議を迅速におこなうこと。
- ・規程の改変に際し、改変することによる問題の発生がないよう、十分に協議すること
- ・規程の内容に関し、各委員が熟知するとともに、他の学会規程なども学び、より良い規程となるよう研鑽を積むこと

3. 2020年度の活動計画

1) 規程改廃に関する協議をおこなう

2) 少なくとも1回は集合した会議をおこない、規程委員会の活動について各委員が認識を統一すること。

4. 2020年度委員会開催予定 (Web会議含む)

例

1) 第1回委員会： 。

2020年7月ごろメール会議にて開催予定

内容：活動目標などについて確認をおこなう。

新任委員への委員会活動説明や確認をおこなう。

2) 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえて、今年度中には集合しての委員会を開催予定

2020年 次期末定

内容：それまでの活動について 活動における問題点の検討

新任委員の自己紹介等

3) その他メール会議で対応する予定

5. その他

以上

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

1) 第1回委員会：2018年8月20日（月）メール会議

内容：ニュースレター「研究倫理の啓発」連載回数変更（9回→10回）の件

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

- 1) ニュースレター「研究倫理の啓発」連載内容について委員会内で検討し、2018年3月31日発行No.31より掲載を開始となっている。全10回を予定しており、これまでに9回掲載している。

（連載内容）

1. なぜ研究倫理の遵守が必要なのか
2. 研究不正の種類にはどんなものがあるのか
3. 人を対象とする医学系研究について
4. 臨床研究法について
5. 倫理研修・審査は大学や研究機関以外に所属する人も関係があるのか
6. 症例報告でも倫理審査は必要なのか
7. 倫理審査はどうすればよいのか？
8. 倫理審査申請の手順Ⅰ
9. 倫理審査申請の手順Ⅱ
10. 利益相反を開示する意義について（予定）

3. 引継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

1) ニュースレター「研究倫理の啓発」連載

全10回のうちこれまでに9回の連載を終え、残り1回となっている。

2020年6月30日発行No.40まで連載予定である。

2) 倫理研修について

以上

日本老年歯科医学会 倫理委員会
2020 年度活動計画

2020/6/10

1. 委員会構成

委員長 服部佳功 副委員長 會田英紀
委員 大井孝, 小林琢也, 糸田昌隆 (倫理審査委員長), 菅武雄 (利益相反委員長)
幹事 田中恭恵

2. 2020-2021 年度の活動目標

高齢者の歯科医療に関する倫理的な問題の整理とそれに対する対応を検討する。

3. 2020 年度の活動計画

- 1) 高齢者歯科医療における倫理的問題を整理し、過剰や過少に陥らない適切な医療提供のあり方の指針作成に向けた基礎資料を集積する。
- 2) 大学等教育研究機関以外に所属する会員に向けた研究倫理教育を実施する。

4. 2020 年度委員会開催予定 (Web 会議含む)

- 1) 第 1 回委員会 (Web 会議) を 2020 年 7 月中に開催予定
- 2) 今年度秋ごろと年明けに、第 2 回および第 3 回委員会 (Web 会議) を開催予定
- 3) 随時メール会議にて対応する

以上

日本老年歯科医学会 倫理審査委員会
2018・2019年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/14

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

1) 2020年度第1回委員会：2020年5月9日（土）14:00～15:20：Web会議

・倫理審査申請(2020-1)について：研究課題名「口腔内の虚弱等の状態を評価する客観的スクリーニング方法等の開発・検証」について審査を行い、指摘事項について修正を行ってもらった後に、修正が適切であれば「承認」とすることとした。

・学術委員会からの倫理申請要件に関する要望について：本委員会からの参考意見としては、本学会のAPRINによるeラーニング研修の有効期間は1年のままとするが、新規研修と継続研修に分け、継続研修の場合には受講項目を現行の1/3程度に減らし負担の軽減を図ることを、倫理委員会に提言することとなった。

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 2018年度には2件、2019年度には3件の倫理審査を行った。

2) 本学会ホームページ上に、本学会が審査する臨床研究や倫理研修を明確化するためにフローチャートを掲載した。

3) 学術大会の演題登録における倫理審査関連項目の整備を行った。

4) 学術大会の演題抄録に対する研究倫理に関する査読を行った。

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

1) 本学会のAPRINによるeラーニングを利用した倫理研修のあり方について：倫理委員会と共同で会員の負担軽減を図る具体的対応を行っていく。

以上

日本老年歯科医学会 倫理審査委員会
2020年度活動計画

2020/6/16

1. 委員会構成

委員長 糸田昌隆 副委員長 細矢哲康
委員 服部佳功（倫理），吉川峰加，中川量晴，星野由美
小畑 真（外部委員），藤沼 聡（外部委員），奥野健太郎（時限委員）
幹事 貴島真佐子

2. 2020-2021年度の活動目標

会員に倫理審査を広く利用してもらう。

3. 2020年度の活動計画

- 1) 倫理審査の重要性の啓発、周知（特に倫理審査困難な会員へ）
- 2) 研究倫理研修の完全 e-learning の積極的導入
- 3) 倫理審査の実施

4. 2020年度委員会開催予定（Web会議含む）

- 1) 第1回委員会：7月下旬 予定
開催形式は未定
- 2) 8月下旬もしくは9月下旬と11月開催する予定
内容：倫理審査実務について打ち合わせ
- 3) 3回目以降は、倫理申請がある際に随時

5. その他

以上

日本老年歯科医学会 利益相反委員会
2018・2019年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/8

1. 委員会開催実績（メール会議を含む） *2019年12月～2020年5月の間

1) 第1回委員会（メール会議）：2019年11月25日（月）～11月28日（木）

内容：2019年度中間報告内容について

→審議の結果、中間報告内容について異議なしとの結論に至った。

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1) 倫理審査申請時のCOI申告書提出の決定に伴うCOI申告書の内容変更について、適切な内容に修正・変更を行うことができた。（2019年6月18日（火）～6月28日（金）にメール会議にて審議・承認済）

2) 2018・2019年度の活動において、メール会議にて滞りなく委員会は運営され、問題なく業務が遂行された。

3. 引き継ぎ事項

以下の件については次期への引き継ぎ

1) 委員会の運営上、現在の規定に大きな問題なく業務が遂行されており、現状で早急に進めるべき通常事業以外の新規事業または時限的な事業の計画はない。従って次期への引き継ぎ事項はない。

以上

日本老年歯科医学会・利益相反委員会
2020年度活動計画

2020/6/15

1. 委員会構成

委員長 菅 武雄 副委員長 小笠原 正
委員 杉原直樹、服部佳功、三浦雅明
幹事 赤松那保

2. 2020-2021年度の活動目標

円滑な利益相反規定の運用をすすめ、利益相反に関わる議案については迅速に対応する。

3. 2020年度の活動計画

- 1) 利益相反規定の運用
- 2) 抄録・論文記載方法の検討

4. 2020年度委員会開催予定（Web会議含む）

審議事案についてはメール会議で対応する予定。（今年度の開催日時は未定）

5. その他

以上

日本老年歯科医学会 特任委員会（代議員選出方法）
2018・2019年度活動報告・引き継ぎ事項

2020/5/15

1. 委員会開催実績

- 1) 第1回委員会：2019年 11月 18日（月）17:00～17:45：八重洲倶楽部
内容：代議員の選出方法について協議した。

2. 2018・2019年度 活動内容と結果および成果

以下の活動を行った。

1)

- ・代議員定数の上限を超えないための代議員数の管理
- ・全47支部（都道府県）を網羅した代議員分布の確立

上記2点の課題解消のため大学所属・開業医・歯科衛生士等の職種および支部毎の構成員数を中心に様々な視点で協議をした。

2)

- ・現状でほぼすべての支部より代議員が出ており、全47支部（都道府県）を網羅した代議員分布は確立されていることを確認した。
- ・現状で評議員数は整合性が保たれているとの指摘があった。
- ・現状の代議員選出方法において学会運営に支障が出ていない。

以上の協議を踏まえて、下山委員長より、複数の他学会について、正会員数と代議員数との間の関連性を調査したが、一定の傾向は認められない。本学会の代議員選出方法は正会員が代議員に立候補しやすいオープンな形式となっていることが説明された。学会活動に積極的な正会員を代議員とする必要があると指摘された。

3. 引継ぎ事項

- 1) 下記を本委員会のまとめとして理事会へ報告することとした。

- ・学会は、代議員になろうとする正会員または代議員は本会のために活発な活動を行うよう促していく。特に社員総会へ参加を心して立候補すべきとの意見があった。
- ・現状の評議員選出方法を原則として維持しつつ、学会は今後の状況を見据え適宜変更の必要性について検討を行うこととする。

以上

日本老年歯科医学会 特任委員会（病院歯科）
2020 年度活動計画

2020/6/10

1. 委員会構成

委員長 大野友久 副委員長 岩佐康行
委員 梅田慈子, 金森大輔, 貴島真佐子, 阪口英夫, 松尾浩一郎, 元橋靖友
幹事 尾崎研一郎

2. 2020-2021 年度の活動目標

本委員会の目標は高齢者対応型病院歯科活動の活発化である。高齢者対応型病院歯科とは、高齢者が罹患しやすい疾患や障害への歯科的対応を通して、地域社会への貢献を担う病院歯科のことである。

その役割としては、各病院の特性に合わせた高齢者歯科医療に関連する活動が含まれ、具体的には摂食嚥下リハビリテーション、周術期口腔機能管理など歯科支持療法、認知症の口腔管理・支援、回復期・終末期の口腔管理、維持期の口腔管理支援などが挙げられる。すなわち、チーム医療に参加し、医療の中で歯科の専門性を発揮することが必要である。

これまでの高齢者対応型病院歯科は、各地に散在してはいるが縦にも横にも繋がりが少ないために情報交換の機会が少なく個々の病院単位での活動となり、病院歯科全体としての標準化や均質化が遅れていた。高齢者歯科医療に十分貢献できるようになるためには、質の高い高齢者対応型病院歯科の追求とその普及が必要である。

そのために、本委員会により情報交換の場を設けて相互理解を深めることで横の繋がりを強化し、さらには調査や研究を遂行し、エビデンスの構築とともに高齢者対応型病院歯科の有用性を社会にアピールしていく必要がある。

2020-2021 年度は本特任委員会の主旨について各委員に理解を深めていただき、共通の理解の下に委員会を運営し、全国的な調査の実施や先進的な取り組みを実施している各病院歯科からの事例を集積する。各病院が持つ有用なシステムなどについて情報交換し、お互いに取り込んでもらう機会を設け、活動の活発化、レベルアップを図りたい。

3. 2020 年度の活動計画

- 1) 特任委員会の活動内容の検討・ロードマップの策定
- 2) 病院歯科に関する全国調査の内容についての検討 調査の実施
- 3) 2021 年度学術大会時の病院歯科シンポジウムの企画

4. 2020 年度委員会開催予定（Web 会議含む）

- 1) 第 1 回委員会：7 月上旬 予定（Web 会議）
内容：本委員会の主旨説明 活動内容・ロードマップの検討
- 2) 第 2 回委員会：11 月 7 日（土）8 日（日）東京医科歯科大学（学術大会時）
内容：病院歯科に関する全国調査の内容についての検討
2021 年度学術大会時の病院歯科シンポジウムの企画

5. その他 特になし

日本老年歯科医学会理事長報告(2018.6-2020.6)

佐藤裕二

- 2018.9 会員向けメールマガジンの配信開始
- 2018.10 「わが国の歯科衛生士養成校における老年歯科医学教育の実態」公表
- 2018.10.18-19 台湾老年口腔医学会(TGA)との交流(台湾・高雄):佐藤裕二
- 2018.10.31 ECGとの交流協定を締結
- 2018.11.1 口腔機能低下症説明用資料を公開
- 2018.12.22.23 台日老年歯科シンポジウム
- 2018.12 「口腔機能低下症」患者向けパンフレットを公開
- 2018.12 かかりつけ歯科医のための口腔機能低下症入門(学会監修)
- 2019.3 要介護高齢者の口腔・栄養管理のガイドラインを公開
- 2019.3.23-24 第1回日台高齢者歯科サミット
- 2019.5.16-17 29th Annual Congress of the European College of Gerodontology (ECG)
- 2019.6.6 口腔機能低下症 患者さん配布用紙を公開
- 2019.6.6 認知症の人への歯科治療ガイドライン
- 2019.6.6 認定制度改正:専門医制度と認定医制度の統合
- 2019.9 Twitter(公式)開始
- 2019.10.25 11th IAGG Asia/Oceania:IAGG-TAGD Joint Symposium
- 2019.12 会員数4000名突破
- 2019.12.13 脳卒中患者への医科歯科連携に関するガイドブック:発行
- 2019.12.22 台湾歯科医師会・台湾老年歯科医学会 合同シンポジウム
- 2020.1.19 公式 Facebook ページの移行
- 2020.3.29 日本歯科医学会「口腔機能低下症に関する基本的な考え方」作成支援
- 2020.4.2 「非経口摂取患者の口腔粘膜処置について」作成公表
- 2020.4.3 「在宅歯科医療におけるCOVID-19への対策に関する注意喚起」作成公表
- 2020.6.10 かかりつけ歯科医のため口腔機能低下症入門 発行(本学会監修)
- 2020.6 「多職種連携のための略語・業界用語一覧」作成公表
- 2020.6 老年歯科医学教育基準作成公表
- 2020.6 診療参加型臨床実習マニュアル「移乗」作成公表
- 2020.6 診療参加型臨床実習マニュアル「嚥下内視鏡検査」作成公表
- 2020.6 地域包括ケアシステムのフォローアップならびに情報共有化に向けた取り組みに関する調査報告
- 2020.6 訪問診療での歯科臨床 在宅歯科医療をさらに高める Clinical Questions と Questions & Answers:作成公表
- 2020.6 英語版「Home Visiting Dental Treatment Manual」別冊電子ジャーナル

歯科方言辞典、口腔機能年齢は未完成

・個人会員 県別分布表

2020年6月10日現在

北海道	161	東京都	900	滋賀県	25	香川県	33
青森県	14	神奈川県	387	京都府	34	愛媛県	25
岩手県	40	新潟県	97	大阪府	273	高知県	21
宮城県	77	富山県	15	兵庫県	98	福岡県	254
秋田県	16	石川県	20	奈良県	33	佐賀県	16
山形県	10	福井県	5	和歌山県	8	長崎県	35
福島県	34	山梨県	20	鳥取県	15	熊本県	31
茨城県	37	長野県	44	島根県	19	大分県	18
栃木県	26	岐阜県	58	岡山県	115	宮崎県	14
群馬県	30	静岡県	86	広島県	107	鹿児島県	64
埼玉県	149	愛知県	207	山口県	18	沖縄県	35
千葉県	228	三重県	26	徳島県	36	外国	2

合計 4,016

会員数 (2019年3月31日現在)

個人会員	3,741
〔正会員	3,707
〔名誉会員	34
賛助会員	21
合計	3,762

会員数 (2020年3月31日現在)

個人会員	3,906
〔正会員	3,872
〔名誉会員	34
賛助会員	21
合計	3,927

会員数 (2020年6月10日現在)

個人会員	4,016
〔正会員	3,982
〔名誉会員	34
賛助会員	23
合計	4,039

正会員内訳

歯科医師 3,288 歯科衛生士 548

(歯科医師内訳:

大学関係 1,187名、病院勤務 914名、開業医 1,028名、その他 159名)

その他 180

(医師、保健師、看護師、管理栄養士、言語聴覚士、介護関係の専門職、メーカー等、研究職、学校関係者、薬剤師、歯科助手、放射線技師、地方自治体職員 等含む)

入退会 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	入会	退会	自然退会	増減
個人会員	393	181	80	132
賛助会員	1	1	0	0

入退会 (2020年4月1日～2020年6月10日)

	入会	退会	増減
個人会員	200	15	185
賛助会員	2	0	2

認定制度 認定者数 (2020年6月10日現在)

認定医	専門医	指導医	合計
252	81	185	518

※指導医は専門医認定者

摂食機能療法専門歯科医師 82
認定歯科衛生士 90

会費納入率 (2020年6月10日現在)

2020年度分まで納入	23.6 %
2019年度分まで納入	87.5 %
2018年度分まで納入	95.5 %

報告事項(その他)

佐藤裕二

7. 日本歯科医学会報告

- ・2019.6 から常任理事に選出され、会務を担当(任期は 2021.6)
- ・歯科医療協議会でタイムスタディを担当し、中間報告作成・公開
- ・その他の活動に関しては、歯科医学会 HP 参照

8. 日本歯科医学会連合報告

- ・歯科医師会から独立した組織(独自の事務所)
- ・専門医機構と連携

11. 日本歯科専門医機構

- ・専門医制度に関して 2 回の WS 開催
- ・口腔外科、歯科麻酔、歯周病、小児歯科、歯科放射線 は認定作業中
- ・保存、補綴、インプラント、矯正歯科 は申請中
- ・総合歯科は検討中(老年歯科、障害者歯科、有病者歯科、歯科医学会連合, , ,)

12. 日本老年学会報告

- ・第 32 回老年学会(合同):名古屋 2021/6/11-13:シンポジウムテーマ 15 案検討中
- ・IAGG2021:アルゼンチン 2021.6.20-24(ここで IAGG2029 開催地決定)
- ・IAGG2023 アジアオセアニア:2023/6/12-15 横浜パシフィコ
大会長:鳥羽研二先生(東京都健康長寿医療センター)
委員長:荒井秀典先生(老年医学会)
副大会長:各学会の理事長
本学会からは、財務:下山先生, 学術:櫻井先生
※第 33 回老年学会(合同)が引き続き 2023/6/16-18 に開催:会長:大内先生
(本学会の大会長を決める必要あり 2021.1 までには)
参考:第 34 回老年学歯科医学会(単独):2024.6.??:大会長未定(2021.12 決定予定)
- ・第 34 回老年学会(合同):未定 2025/6
- ・IAGG2025 アムステルダム 2025.8.3-7
- ・IAGG2029 京都 2029.6. 立候補
- ・名誉会員:渡辺郁馬先生, 山根源之先生, 森戸光彦先生の 3 名のみ→推薦を検討?

歯学系学会協議会 報告

1. 新型コロナウイルス感染が拡大し収束しない状況から、6月18日(木)に予定していた講演会は中止とし、理事会等もWeb会議で行っている。
6月24日(水)に行われる総会は、規模を縮小して口腔保健協会内の会議室で行うこととなった。

2. 理事選挙の結果、2020-21年度から2年の役員は以下の通り決定した(敬称略)。

【理事長】羽村 章 (日本老年歯科医学会、日本総合歯科学会)

【副理事長】今井 裕 (日本有病者歯科医療学会)

外木 守雄 (日本睡眠歯科学会)

【常任理事】井上 富雄 (歯科基礎医学会)

末瀬 一彦 (日本歯科技工学会、日本デジタル歯科学会)

鄭 漢忠 (日本口腔外科学会)

中村 誠司 (日本口腔内科学会)

馬場 一美 (日本補綴歯科学会)

【理事】浅海 淳一 (日本歯科放射線学会、岡山歯学会)

石井 信之 (日本歯科保存学会)

伊藤 孝訓 (日本口腔診断学会)

志賀 博 (日本歯科大学歯学会)

丹沢 秀樹 (日本口腔科学会)

村上 伸也 (日本歯周病学会)

依田 哲也 (日本顎関節学会)

なお監事は前年度に引き続き、尾松 素樹 (日本歯科医師会)、山根 源之 (東京歯科大学名誉教授) 両先生にお願いした。

3. 本年1月30日に開催した講演会「基礎と臨床の連携」のプロシーディングが完成し、歯学協のHPに掲載した。

以上